R063241

TOTO

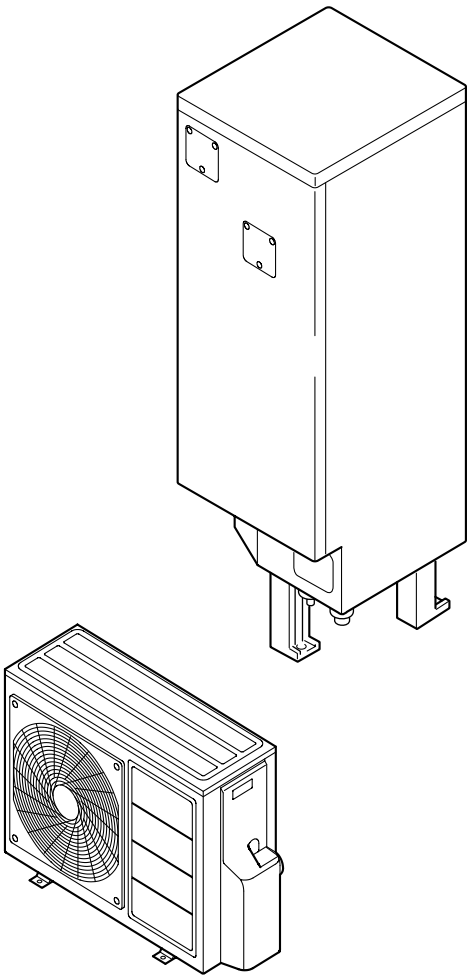
取扱説明書

工事店様へのお願い 保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

エコキュート

自然冷媒ヒートポンプ式給湯機

システム型式名	RES3705HP	RES3705HPZ
ヒートポンプユニット	REHP452	REHP452Z
貯湯タンクユニット	RE3705HP	RE3705HPZ



もくじ

はじめに
ご使用前の知識 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
製品構成と各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

準備
はじめてご使用になるとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・13
時刻合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
電力契約（サービス）モードの入力 ・・・・・・・・・・・・17
運転モードの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
沸上げ温度の設定（「深夜のみ」運転モード時のみ）・・・20
最低貯湯量の設定（「おまかせ」運転モード時のみ）・・・21
表示消灯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

給湯の使い方
台所・シャワーなどの給湯温度の設定 ・・・・・・・・・・23

おふろの使い方
ふろ自動運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
ふろ自動運転継続時間の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・28
湯はり予約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
浴槽の湯温をあげる（追いだき）・・・・・・・・・・・・・31
浴槽の湯温をさげる（ふろぬるめ）・・・・・・・・・・・・32
浴槽のお湯をふやす（たし湯）・・・・・・・・・・・・・・33
浴室内から人を呼ぶ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
ふろ配管の洗浄（クリーニング）・・・・・・・・・・・・・35

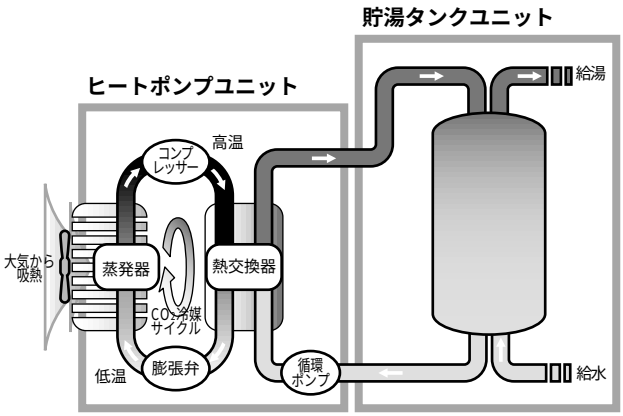
オプション設定
オプション設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

ナビモード
ナビモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

このようなときは
お湯をたくさん使うとき（強制沸増）・・・・・・・・・・・45
冬期の凍結予防について ・・・・・・・・・・・・・・・・・46
数日間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・・・48
長期間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・・・49
断水のときなどにお湯を取出す ・・・・・・・・・・・・・・51
停電したときや断水・水道工事が行われるとき ・・・・・52
定期点検（有料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
お手入れと日常点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
故障かなと思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・60

ご使用前の知識

自然冷媒ヒートポンプ式給湯機とは



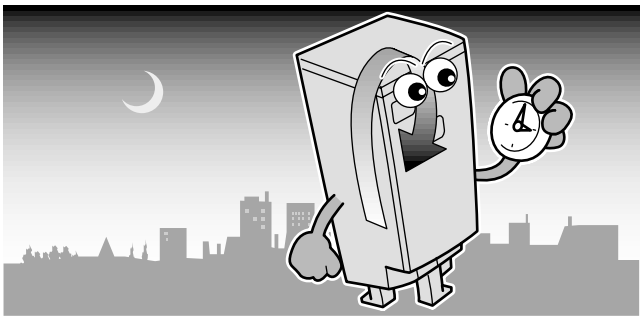
●ヒートポンプユニット内に封入された冷媒の働きを利用し、蒸発器で大気の熱を汲み上げ、熱交換器で水をお湯に沸上げます。
ヒートポンプユニット内には自然冷媒（CO_2）が封入されています。

ご参考

沸上げ時間のめやす

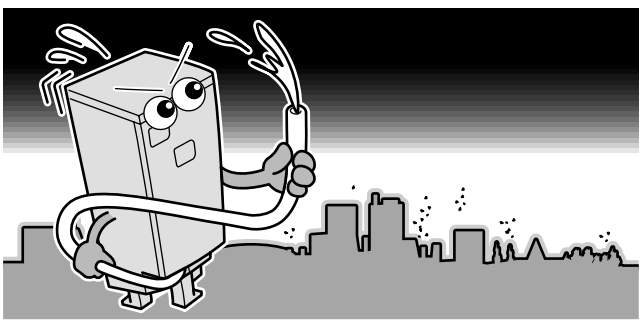
夏期：約4時間（水温24℃、沸上げ温度65℃）
冬期：約8時間（水温9℃、沸上げ温度90℃）

季節別・時間帯別電灯契約専用です



●この機器の性能を最大限に発揮させ経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約をしてください。
契約方法は電力会社または販売店までご相談ください。

断水のときなどにお湯を取出す



●万一の地震などの災害時は、貯湯タンクユニット内のお湯（水）を生活用水（飲用は不可）として利用できます。
ご使用方法は51ページをお読みください。

安全上のご注意

○ ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○ 図記号の説明

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁止	⃠は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

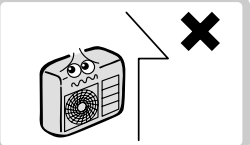
据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 警 告

●据え付けは販売店または工事店に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。

禁止

●ヒートポンプユニットは屋内に設置しない。
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。



禁止

●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。
発火や火災になることがあります。

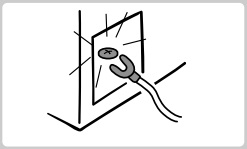
安全上のご注意

据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 警 告

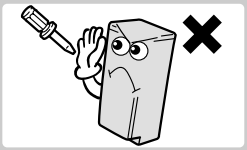
アース工事

●アース工事を確認する。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



禁止

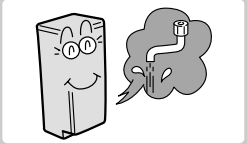
●ご自分での修理・改造や再設置は行わない。
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



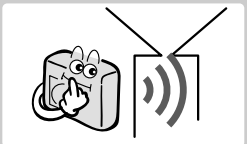
⚠ 注 意

上水道

●水道水を使用する。（井戸水・温泉水は使用不可）
水質基準に適合しない水を使用すると、故障や水漏れの原因になります。

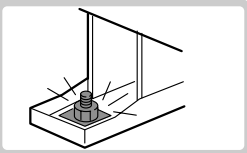


●設置は隣家に配慮した場所を選ぶ。
運転音や振動が伝わりにくい場所、および排風で隣家の迷惑にならない場所をお選びください。



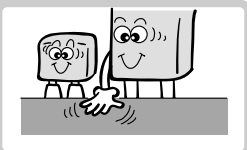
確認

●貯湯タンクユニット脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。
台風や地震のとき、貯湯タンクユニットが倒れてけがをすることがあります。



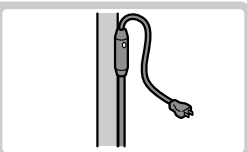
確認

●床面が防水・排水処理されているか確認する。
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



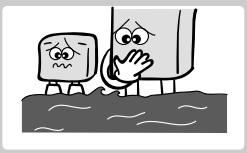
確認

●配管の凍結予防対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



禁止

●冠水するところには設置しない。
浸水すると漏電や感電することがあります。



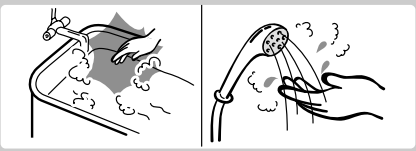
安全上のご注意

使用時のご注意

⚠ 警 告

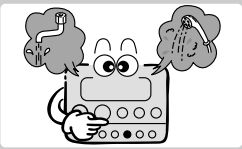
確認

●入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
●お湯を使う前には湯温を確認する。
やけどをすることがあります。

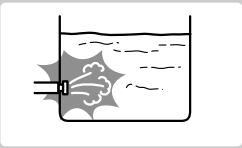


確認

●給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する。
やけどをすることがあります。



●入浴するときは、ふろ循環アダプタから離れる。
●浴槽にお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない。
やけどをすることがあります。
追いだきをするときや自動保温中または自動運転を終了したときに熱いお湯が出ます。

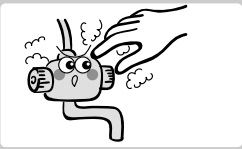


禁止

●子供の入浴に注意する。
ふろ循環アダプタ付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。

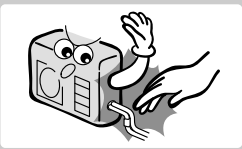
やけど注意

●給湯時は給湯栓本体に手を触れない。
やけどをすることがあります。



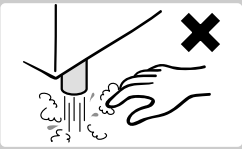
やけど注意

●ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない。
やけどをすることがあります。



やけど注意

●排水時および取水時にはお湯に手を触れない。
●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。



やけど注意

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

禁止

●近くに可燃性ガスや引火物を置かない。
発火や火災になることがあります。

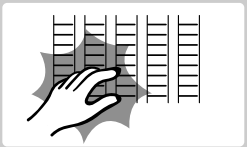
安全上のご注意

使用時のご注意

⚠ 警 告

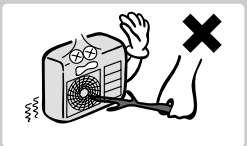
禁止

●ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンには触らない。
フィンでけがをすることがあります。



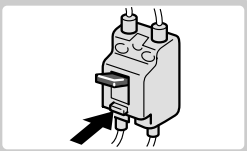
禁止

●ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない。
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。特に幼児に注意してください。

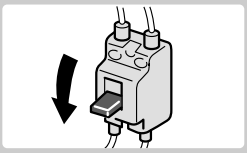


動作確認

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。

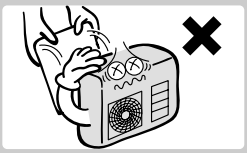


●異常時は漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



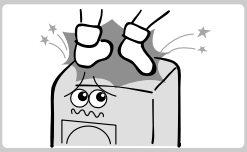
禁止

●取り外す指定のないカバーは取り外さない。
高温部によるやけどや感電することがあります。



禁止

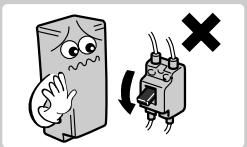
●ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの上に乗ったり、配管に力を加えない。
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。



⚠ 注 意

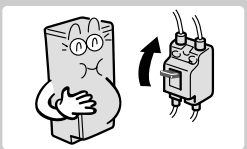
禁止

●電源を「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。



満水確認

●貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。



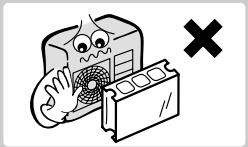
安全上のご注意

使用時のご注意

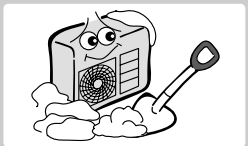
⚠ 注 意

禁止

●ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない。
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

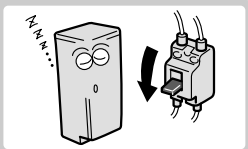


●積雪時には除雪をする。
ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。



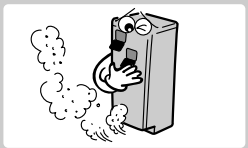
電源確認

●1箇月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする。
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。



カバーは閉

●貯湯タンクユニットの操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

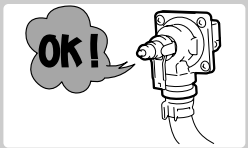


禁止

●硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない。
本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。

点検

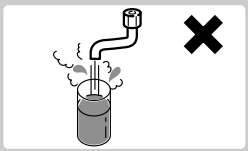
●逃し弁の点検をする。
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



禁止

●そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



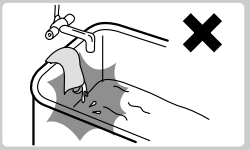
使用上のご注意

使用時のご注意

⚠ 注 意

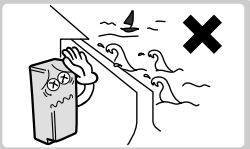
禁止

●ふろ循環アダプタはふさがない。
ふさぐと誤作動や故障の原因になります。



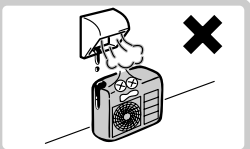
禁止

●塩害地（海浜地区で潮風が直接当たる場所）には設置しない。
機器故障の原因になります。



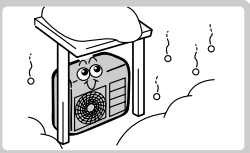
禁止

●キッチンの換気扇の近くには設置しない。
油分の付着や排気により、性能低下や機器故障の原因になります。



確認

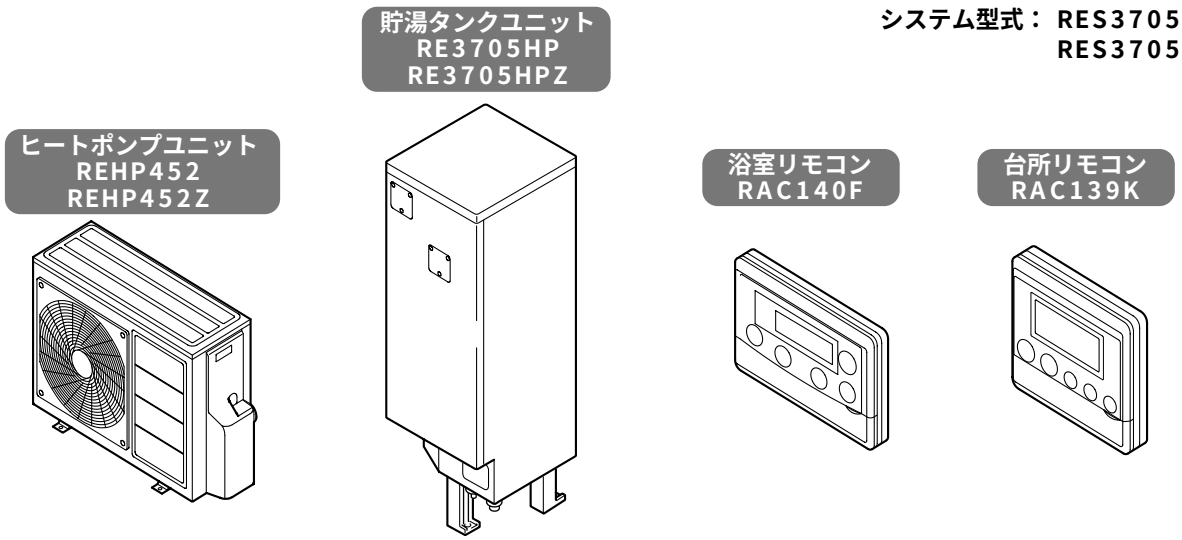
●積雪地域では屋根などの防雪対策をする。
機器に積雪すると誤作動や故障の原因になります。



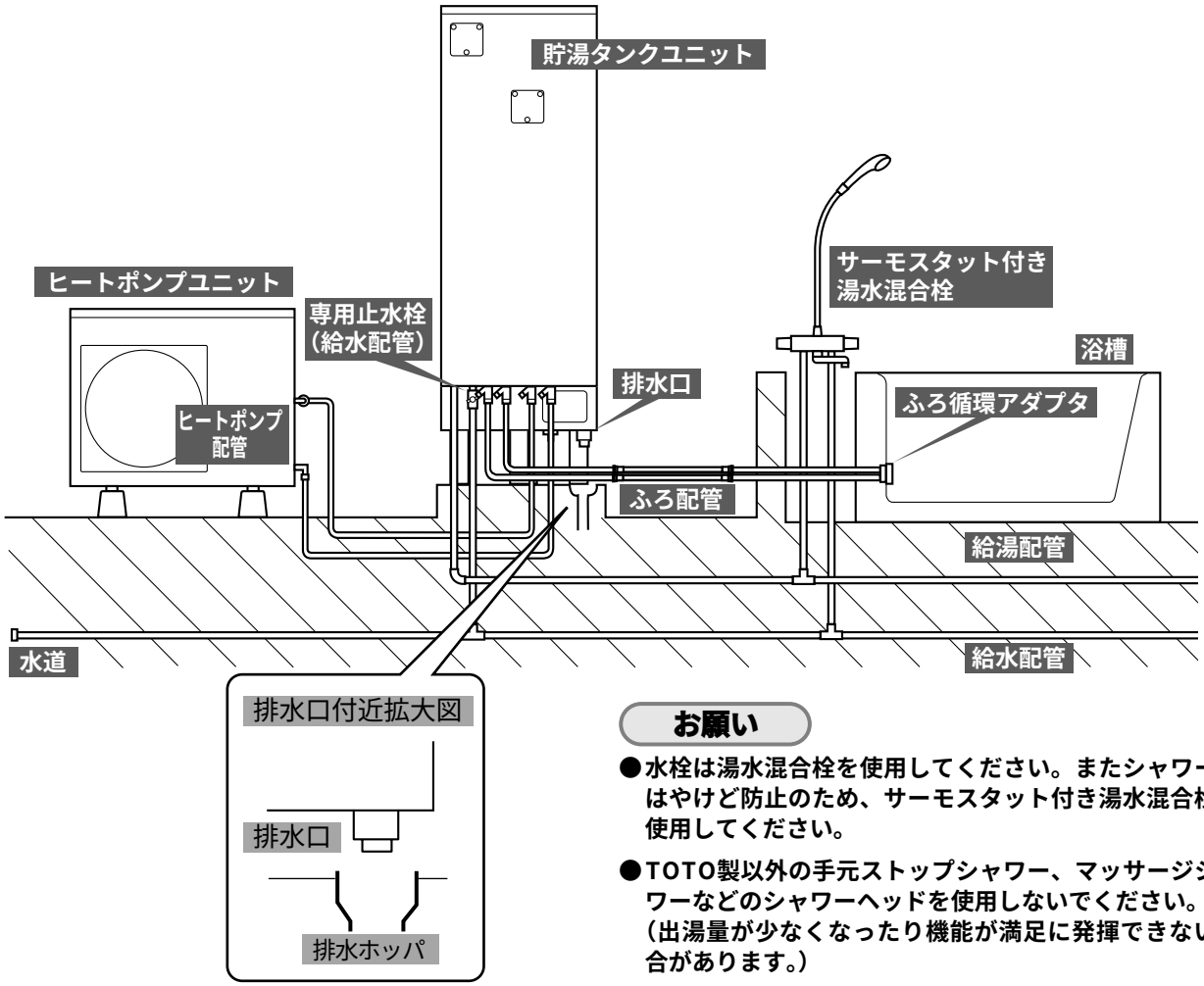
製品構成と各部のなまえ

製品構成

システム型式： RES3705HP
RES3705HPZ



システム全体の配管概要

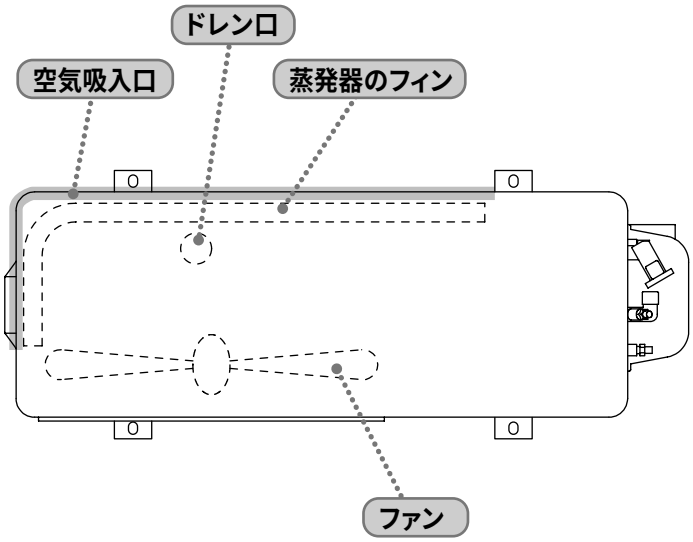


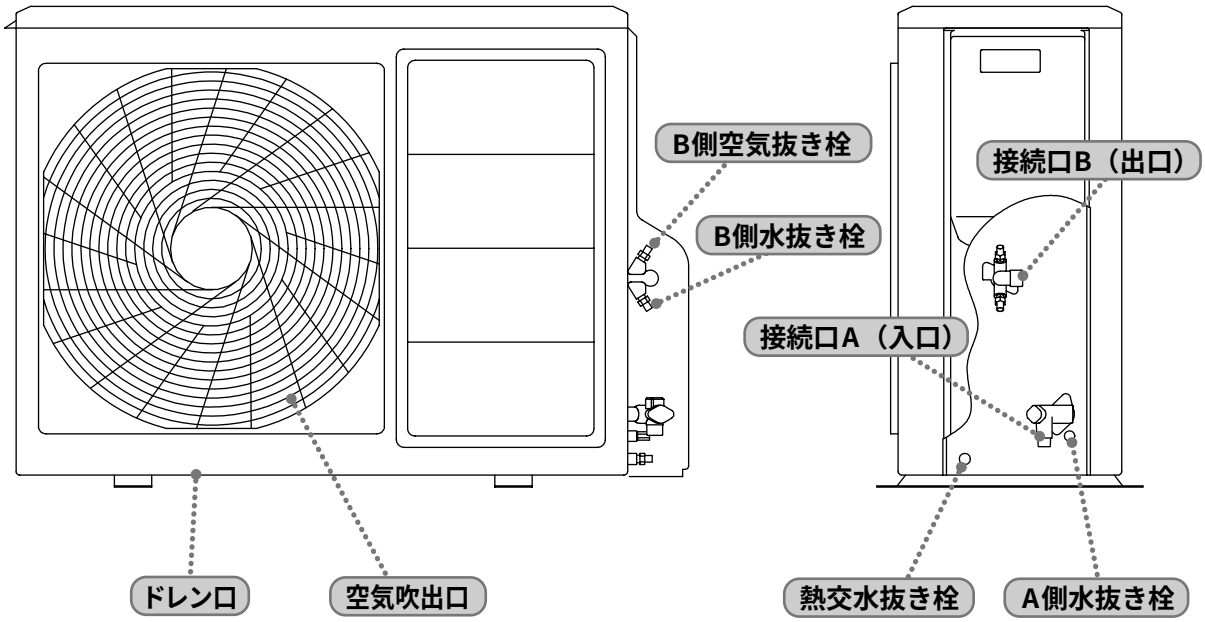
お願い

- 水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
- TOTO製以外の手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用しないでください。
（出湯量が少なくなったり機能が満足に発揮できない場合があります。）

製品構成と各部のなまえ

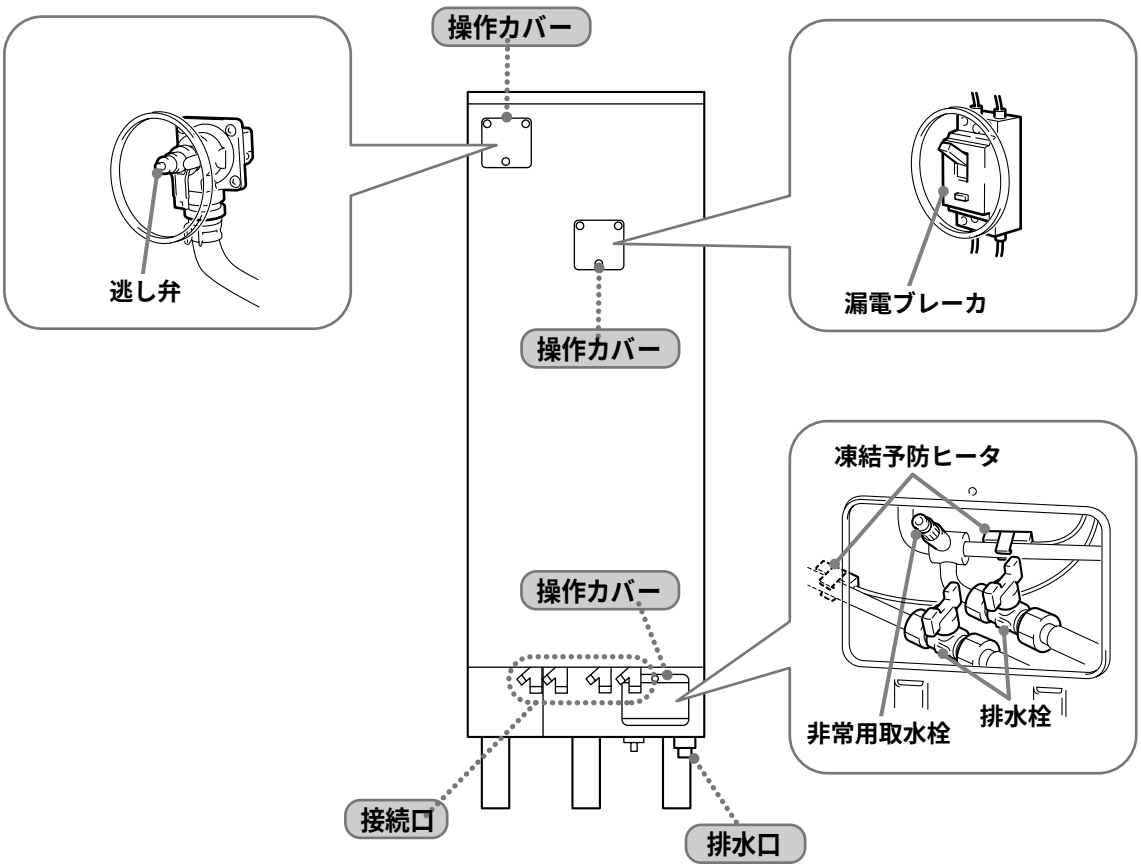
ヒートポンプユニット



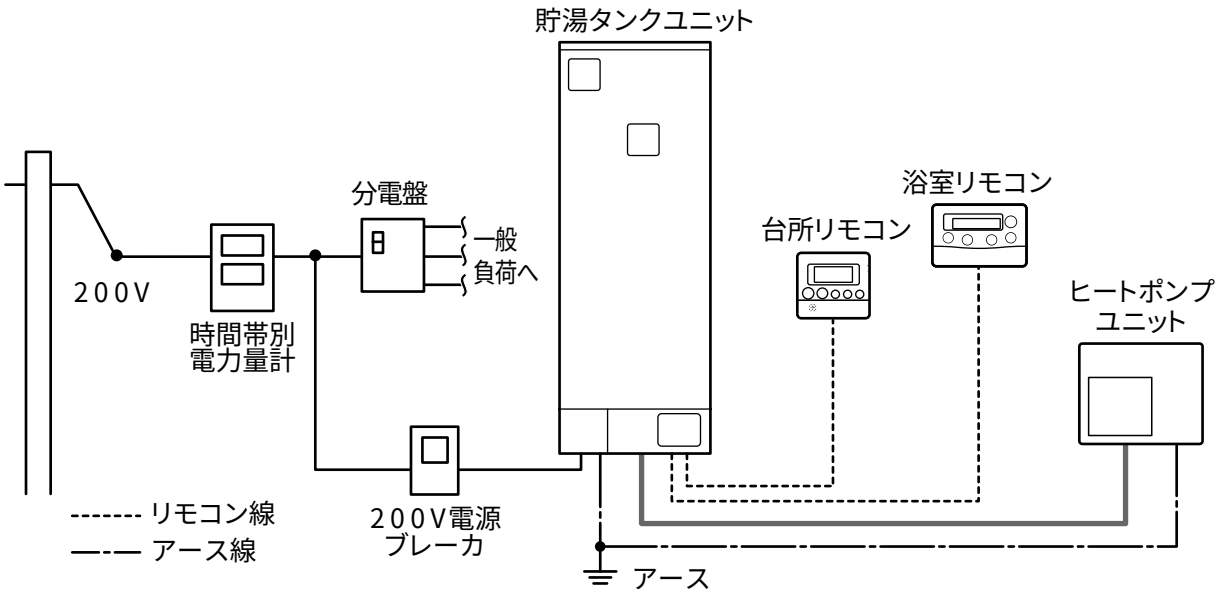


製品構成と各部のなまえ

貯湯タンクユニット



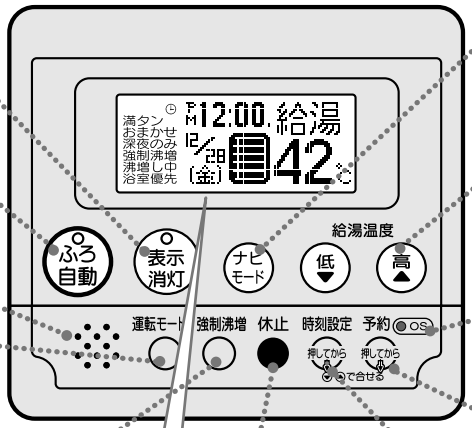
配線例（時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約専用）



製品構成と各部のなまえ

台所リモコン

○ 表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



表示消灯スイッチ
表示の常時点灯/自動消灯の設定を行います。（→22ページ）

ふろ自動スイッチ
設定された湯温・水位で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。（→24ページ）

スピーカー

運転モード切替スイッチ
・運転モードを「おまかせ」「満タン」「深夜のみ」のいずれかに設定します。（→18ページ）
・沸上げ温度、最低貯湯量を「標準」「湯多め」「控えめ」のいずれかに設定します。（→20、21ページ）

強制沸増スイッチ
オプション設定で設定された沸増量（50L・100L・満タン）を沸き上げます。（23時になると自動的に解除されます。）（→40、45ページ）

休止スイッチ
数日間お湯を使用しないとき、日数（0～15日間）を指定して沸上げを停止できます。（→48ページ）

ナビモードスイッチ
使用可能湯量、1週間の使用湯量、ふろ保温残り時間などの情報を表示します。（→42ページ）

給湯温度設定スイッチ
水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。
[35℃～50℃（1℃刻み）/60℃]（→23ページ）

OS（オプション）スイッチ
音量、表示輝度などのオプション設定を行います。（→36ページ）

ふろ湯はり予約スイッチ
ふろ自動運転の予約/解除や、ふろ予約時刻設定を行います。（→29ページ）

時刻設定スイッチ
時刻を合わせる時に使用します。（→15ページ）

表示部

予約表示
予約設定中に表示されます。

時刻・使用再開日表示
・現在時刻を表示します。
・休止設定中は使用再開までの日数が表示されます。

運転モード表示
現在の運転モードが表示されます。

強制沸増表示
強制沸増モードに設定すると表示されます。

沸増し中表示
沸上げ動作中に表示されます。

浴室優先表示
浴室リモコンに優先権があるときに表示されます。

給湯表示（高温表示）
・電源が入っているとき、[給湯]表示を点灯します。
・給湯温度設定60℃のときは、[高温]表示を3回点滅してから点灯します。

給湯温度表示
給湯温度を表示します。

カレンダー表示
・現在の月日および曜日の表示をします。
・現在時刻の設定が行われていない場合は表示しません。

貯湯量表示
バーの数で貯湯量を表示します。
・約50L未満で「残湯少」の点灯に切り替わります。
・約20L未満では「残湯少」が点滅します。（19ページ）

各種ナビモード表示
ナビモードのとき次を表示します。
・使用可能湯量
・1週間の使用湯量
・ふろ保温残り時間
・貯湯温度
など

お願い

●**台所リモコンに水をかけないでください。**
防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ

浴室リモコン

○ 表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

追いだきスイッチ
追いだき運転をして湯温を約2℃上げます。
（→31ページ）

たし湯スイッチ
設定温度のお湯を約20Lたし湯します。
（→33ページ）

ふろ自動スイッチ
設定された湯温・水位で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。
（→24ページ）

浴室優先スイッチ
リモコンの優先権を切り替えます。優先権のないリモコンでは給湯温度の設定はできません。
（→23ページ）

呼出スイッチ
ブザーと音声を台所リモコンから流し、呼び出していることをお知らせします。
（→34ページ）

給湯温度設定スイッチ
水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。
[35℃～50℃（1℃刻み）/60℃]
（→23ページ）

ふろ湯温設定スイッチ
浴槽の湯はり温度を設定します。
[35℃～48℃（1℃刻み）]
（→24ページ）

保温時間設定スイッチ
ふろ自動運転の継続時間を設定します。（0～6時間）
（→28ページ）

ふろ湯量設定スイッチ
浴槽の湯はり水位を設定します。
（→24ページ）

クリーニングスイッチ
ふろ配管に水を流し、配管を洗浄します。
（→35ページ）

ふろぬるめスイッチ
さし水をして湯温を約1℃下げます。
（→32ページ）

表示部

浴室優先表示
浴室リモコンに優先権があるときに表示されます。

現在時刻表示
現在時刻を表示します。

湯はり湯量表示
設定された湯はり湯量を表示します。（→24ページ）

保温中表示
ふろ保温中に表示されます。貯湯量が不足するときは点滅します。

熱湯注意表示
給湯温度設定が60℃のとき表示されます。

予約表示
予約設定中に表示されます。

残り湯少表示
・約50L未満で点灯します。
・約20L未満で点滅します。

湯はり温度・保温時間表示
湯はり温度を表示します。保温時間設定スイッチを押したときは、ふろ保温時間を表示します。

給湯温度表示
設定された給湯温度を表示します。

高温表示
追いだき運転のときに表示されます。

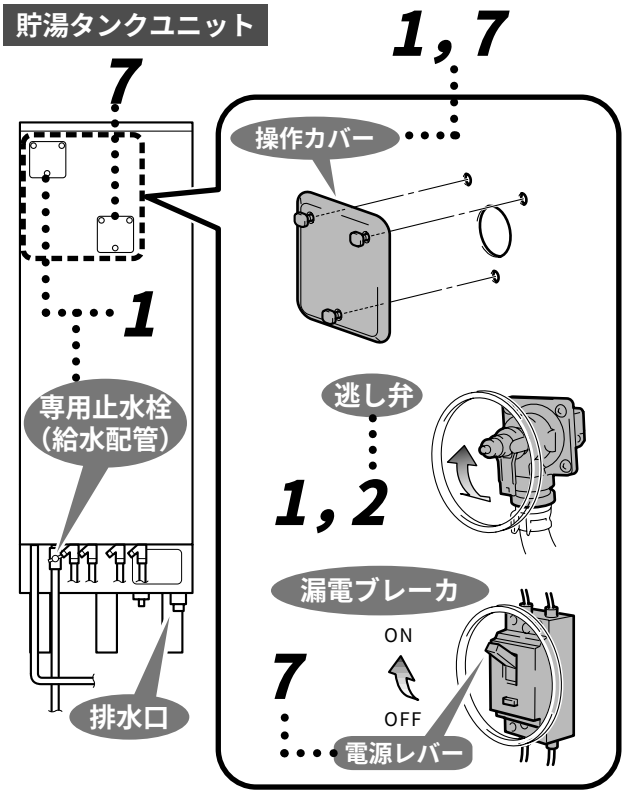
矢印表示
湯はり、たし湯、追いだき、ふろぬるめ、クリーニング中に表示されます。

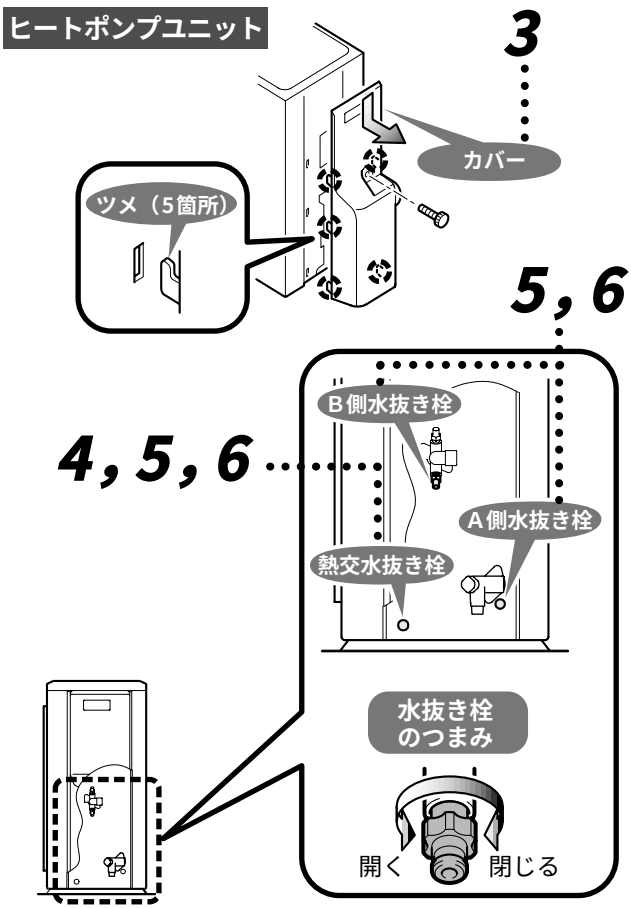
お願い

●**浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。**
故障の原因になります。

はじめてご使用になるとき

○ 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットを満水にし、電源を入れます。





1. **貯湯タンクユニットの操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げ、専用止水栓（給水配管）を開きます。**

●貯湯タンクユニットに水を入れます。

2. **貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを戻します。**

●排水口から水が出てきたら満水です。
●満水までの目安は約30分です。

3. **ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジを取りはずし、下方へスライドさせ、ツメ（5箇所）をはずし、カバーを取りはずします。**

●必要以上にスライドさせると、ツメ部が破損する恐れがあるので注意してください。

4. **ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、エア抜きをします。**

●2分以上十分にエアが抜けるまで行ってください。

5. **ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓を開き、エア抜きをします。**

6. **ヒートポンプユニットのA側、熱交およびB側の水抜き栓を閉じます。**

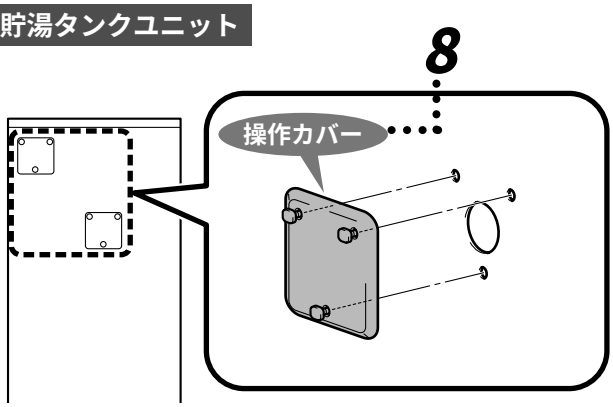
7. **200V電源ブレーカを「入」にし、貯湯タンクユニットの操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。**

⚠注 意

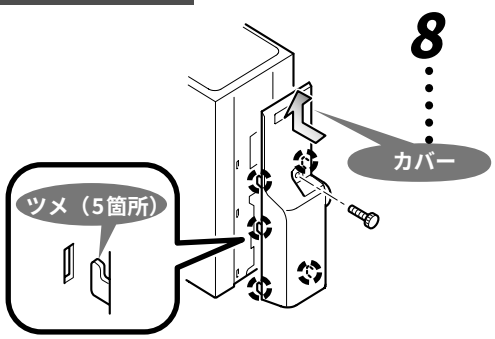
●**貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。**
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

はじめてご使用になるとき

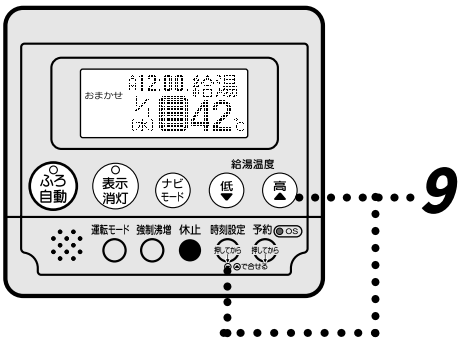
貯湯タンクユニット



ヒートポンプユニット



台所リモコン



8. **貯湯タンクユニットの操作カバーとヒートポンプユニットのカバーを元どおり取り付けます。**

9. **台所リモコンの（時刻設定 押してから）と（高▲）を同時に5秒以上押します。**

- ［ヒートポンプエア抜き中］と表示され、ヒートポンプ配管のエア抜きがはじまります。

ヒートポンプ
エ ア 抜 き 中

10. **約20分でエア抜きが自動で終了します。**

お知らせ

- （ナビモード）を押すと、エア抜きを終了し、通常の表示に戻ります。

お願い

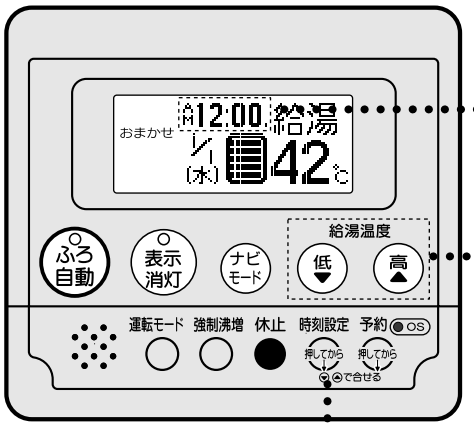
- 次ページ以降の内容に基づき操作を行ってください。
  - 「時刻合わせ」（→15ページ）
  - 「電力契約モードの入力」（→17ページ）
  - 「運転モードの設定」（→18ページ）
  - 「沸上げ温度の設定」（→20ページ）
  - 「最低貯湯量の設定」（→21ページ）

準備

時刻合わせ

- 現在時刻と年月日の設定をします。
- 設定時刻がずれていたり、午前（AM）と午後（PM）を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。
- 停電などで時刻が「－：－－」表示のままでは、自動沸上げができません。

台所リモコン



時刻表示

2, 4, 6

1, 3, 5

1. 時刻設定（押してから）を押します。

- 「時」が点滅します。

〈表示部〉

AM12:00
2003年
1月 1日

お知らせ

- **時刻の設定中（表示点滅中）に10秒以上スイッチが押されないとその時の表示時間で設定されます。**

2. 給湯温度（低）（高）を押し「時」を合わせます。

- （高）を押すと1時間ずつ進みます。
（押し続けると連続して進みます。）
- （低）を押すと1時間ずつ戻ります。
（押し続けると連続して戻ります。）

お知らせ

- **時刻は12時間表示です。**
昼の12時は「PM12：00」を、
夜の12時は「AM12：00」を表示します。

3. 時刻設定（押してから）を押します。

- 「時」が設定され、「分」が点滅します。

〈表示部〉（例:午後（PM）3時）

PM 3:00

4. 給湯温度（低）（高）を押し「分」を合わせます。

- （高）を押すと1分ずつ進みます。
（押し続けると連続して進みます。）
- （低）を押すと1分ずつ戻ります。
（押し続けると連続して戻ります。）

5. 時刻設定（押してから）を押します。

- 「分」が設定され、「年」が点滅します。

〈表示部〉

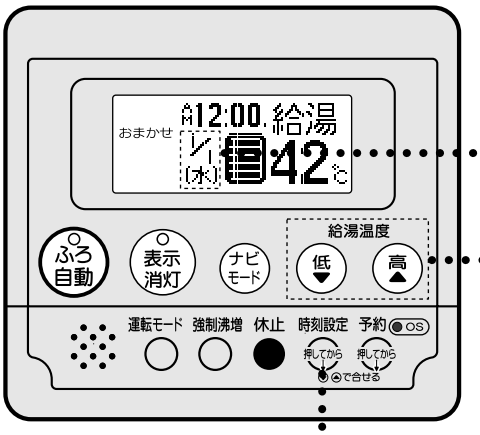
PM 3:15
2003年
1月 1日

6. 給湯温度（低）（高）を押し「年」を合わせます。

- （高）を押すと1年ずつ進みます。
（押し続けると連続して進みます。）
- （低）を押すと1年ずつ戻ります。
（押し続けると連続して戻ります。）

時刻合わせ

台所リモコン



日付表示

8, 10

7, 9, 11

7. 時刻設定 押してから を押します。

●「年」が設定され、「月」が点滅します。

〈表示部〉 (例:2003年1月1日)

PM 3:15.
2003年
1月 1日

8. 給湯温度 低 高 を押し「月」を合わせます。

● 高 を押すと1箇月ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)

● 低 を押すと1箇月ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

9. 時刻設定 押してから を押します。

●「月」が設定され、「日」が点滅します。

〈表示部〉 (例:2003年1月1日)

PM 3:15.
2003年
1月 1日

10. 給湯温度 低 高 を押し「日」を合わせます。

● 高 を押すと1日ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)

● 低 を押すと1日ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

11. 時刻設定 押してから を押します。

●時刻が確定し通常の表示に変わり、時刻設定が完了します。
浴室リモコンにも設定した時刻が自動的に表示されます。

〈表示部〉 (例:2003年1月1日)

PM 3:15.
2003年
1月 1日

お願い

●約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「－：－－」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。

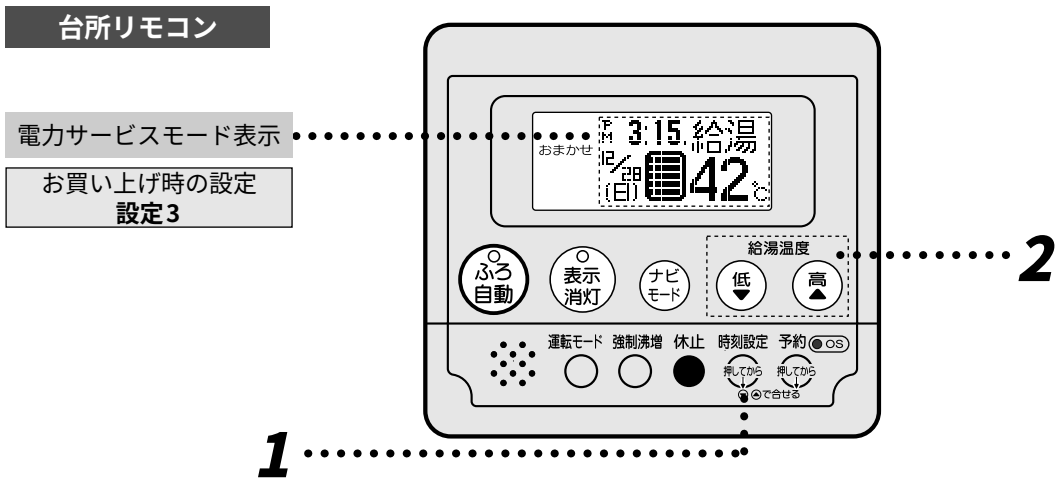
●時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認を行い時刻の修正をしてください。

準備

電力契約（サービス）モードの入力

- 時間帯別電灯契約の種類によって深夜時間帯および安価な時間帯が異なります。
- 電力料金を抑えるため、ご契約に合う電力サービスモードを選択します。

台所リモコン

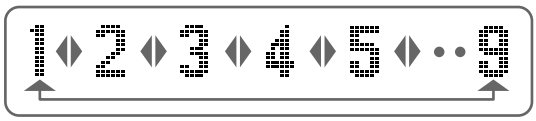


1. 時刻設定 押してから を5秒以上押します。

●時刻表示が電力サービスモード表示に切り替わり、数字が点滅します。

2. 給湯温度 低 高 を押し電力サービスモードを切り替えます。

● 高 低 を押すごとに表示が切り替わります。

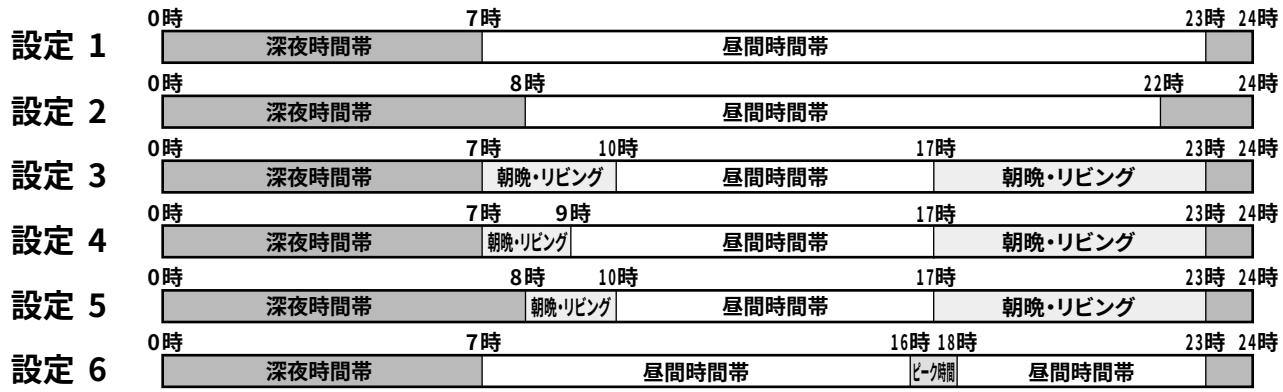


3. 電力サービスモードを設定後、そのまま10秒経過すると、設定完了です。

●電力サービスモードから時刻表示に切り替わります。

ご参考

●電力サービスモード別の時間帯は次のようになっています。詳しくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。

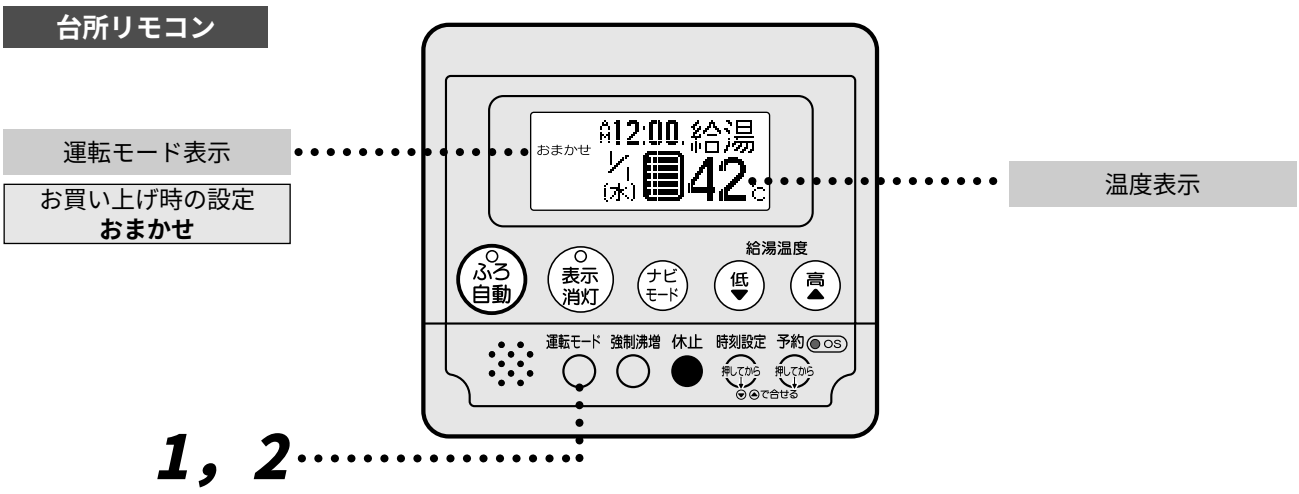


※設定7～9は設定3と同じ内容になります。

運転モードの設定

- ご使用湯量に合わせて、運転モードを設定することができます。
- 通常は「おまかせ」モードのご使用をおすすめします。

台所リモコン



1. 運転モード ◯ を押します。

●現在設定されている運転モードが点滅します。

〈表示部〉

おまかせ

運転モード

おまかせ運転

2. 運転モード ◯ を押し、運転モードを切り替えます。

● 運転モード ◯ を押すごとに運転モードが切り替わり、表示が点滅します。

おまかせ → 深夜のみ → 満タン

運転モード	沸上げ方法（使用場面）
おまかせ	使用湯量を予測して最適な沸上げを行います。（通常のご使用）
深夜のみ	深夜時間帯のみ、沸上げを行います。（お湯の使用量が少ないとき）
満タン	残湯量が約250L以下になると、満タンになるまで沸上げを行います。（多量のお湯を連続して使用されるとき）

3. そのまま5秒経過すると設定完了です。

●点滅している運転モードで設定され、通常の表示に戻ります。

ご参考

●運転モードの違いは次のようになっています。

運転モード	深夜以外の沸上げについて
おまかせ	湯切れを防止するために、自動的に次の沸上げを行います。 ・1日当りタンク容量以下の使用量の場合（毎日の使用量を学習して求めます） →貯湯タンクユニット内のお湯が最低貯湯量を下回ると、約50L沸増しします。 ・1日当りタンク容量以上の使用量の場合 →貯湯タンクユニット内のお湯が約200Lを下回ると、必要湯量まで沸増しします。 ・夕方の時点で、必要湯量（学習値）と貯湯量を比較し不足がある場合 →必要湯量まで沸増しします。
深夜のみ	・深夜以外で自動的な沸上げは行いません。（急な来客などで湯切れの心配があるときは、強制沸増を使用してください）
満タン	・貯湯タンクユニット内のお湯が約250Lを下回ると、満タンまで沸上げを行います。 ・設定され1週間たつと、自動的に運転モード「おまかせ」へ変更されます。

運転モードの設定

お知らせ

●設置日から1週間ほどは、マイコン学習期間のため前述の表中の運転モードとは一部異なる動作になります。

●強制沸増については45ページを参照してください。

貯湯量表示について

○ 台所リモコンの貯湯量表示は次のようになっています。
（貯湯量とは約50℃以上のお湯の量です。）

バー表示	残湯少		0	9	8	8	8
残湯少 表示	点　滅	点　灯	消　灯	消　灯	消　灯	消　灯	消　灯
貯湯量（目安）	約20L未満（ピピピピ）2回	約50L未満（ピピピピ）1回	約50L以上	約100L以上	約150L以上	約200L以上	約250L以上

お知らせ

●「残湯少」の表示は浴室リモコンでも表示されます。

●貯湯量が少ないと下図のような機能の制限があります。

各機能の操作を行う前に台所リモコンの 強制沸増 ◯ を押すなどして、貯湯量を確保してください。

貯湯量表示	ふろ自動	追いだき	たし湯
残湯少（点滅）	受け付けません	受け付けます※1	受け付けません
残湯少（点灯）			受け付けます
L（バー表示が1つ以上点灯）	受け付けます※2	受け付けます	

※1　「深夜のみ」運転モードの場合、午前7時～午後11時の時間帯は受け付けません。
※2　バー表示が1つ以上点灯していても、数日間お湯を使用しないときなど貯湯タンク内の温度が低下していた場合、受け付けないことがあります。

湯切れを防止するためのお願い

●湯はりなどで大量にお湯を使用されるときは、使用される前に貯湯量の確認を行ってください。貯湯量が不足しそうなときは、「強制沸増」を利用してください。

注1）外泊などによって1日以上お湯を使用されなかったときは、貯えられたお湯の温度が低下し、早めに貯湯量表示が減少することがあります。この場合、バー表示が1本～2本では、「ふろ自動スイッチ」を押すと「C03」（P56）表示がでることがあります。「強制沸増」でバー表示を2～3本以上にしてください。

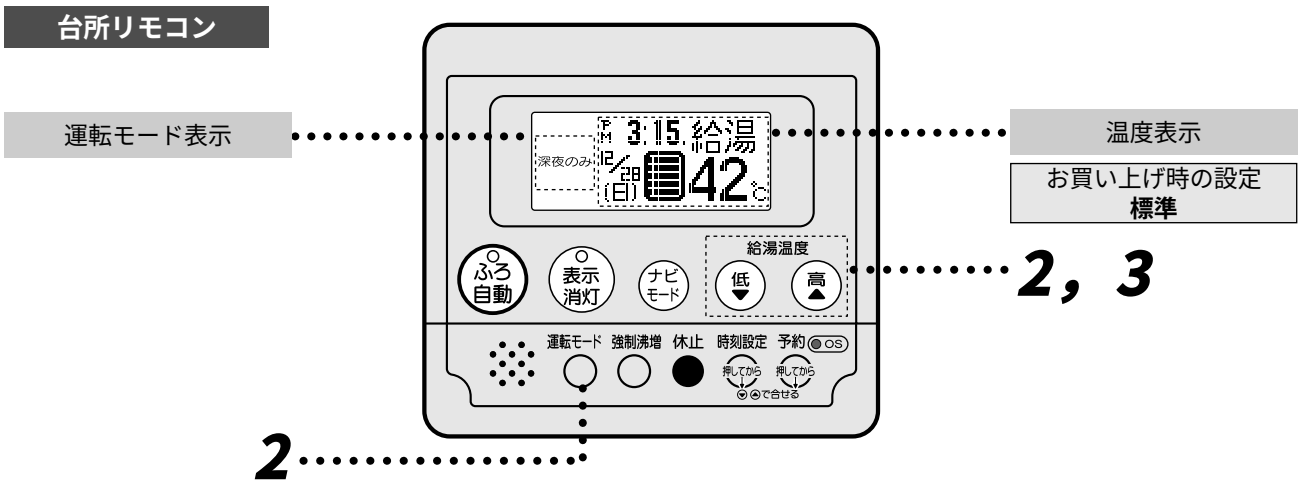
●安価な深夜電力でお湯を貯めて、上手に使っていただく給湯機です。使いすぎに注意してください。

●上手にお湯を使っていただくためにも、「おまかせ」モードでご使用されることをお奨めします。湯切れを起こしにくく、経済的にご使用いただけます。

沸上げ温度の設定（「深夜のみ」運転モード時のみ）

○「深夜のみ」運転モードの時、ご使用湯量に合わせて、沸上げ温度を設定をすることができます。
○「おまかせ」または「満タン」モードのときは、沸上げ温度の設定はできません。

台所リモコン



1. 運転モードが「深夜のみ」であることを確認します。

2. 運転モード ○ を押し、「深夜のみ」が点滅したらすぐに 給湯温度 低 高 を同時に3秒以上押します。

●設定表示に切り替わります。

〈表示部〉

深夜のみ
標準
保温

3 給湯温度 低 高 を押し、沸上げ温度を選択します。

●設定が切り替わり点滅します。

湯多め ⇔ 標準 ⇔ 控えめ

設定	沸上げ温度
標準	今までの使用状況や給水温度から、翌日の使用湯量を予測し湯温を自動調整します。 約65～90℃
控えめ	約65℃に固定します。
湯多め	約90℃に固定します。

4. そのまま5秒経過すると設定完了です。

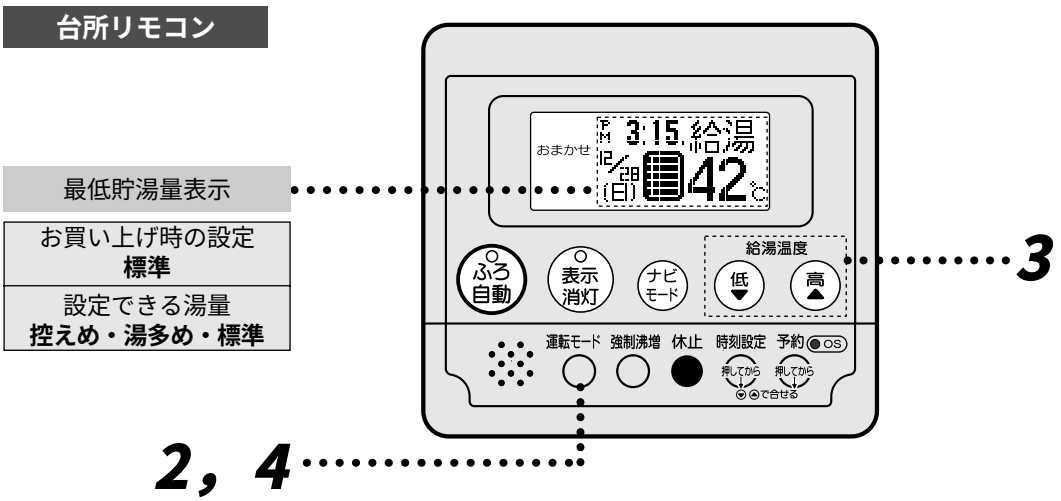
●そのときの表示で設定され、通常の表示に戻ります。

準備

最低貯湯量の設定（「おまかせ」運転モード時のみ）

○「おまかせ」運転モードの時、ご使用状況に合わせて最低貯湯量を設定することができます。
○「深夜のみ」または「満タン」モードの時は、最低貯湯量の設定はできません。

台所リモコン



お知らせ

●最低貯湯量とは、常に確保している貯湯量のことで、湯量が最低貯湯量より少なくなると沸増しします。
●「標準」に設定したときは、マイコンが毎日の貯湯量をモニターし、50L、100Lで自動的に最低貯湯量を切り替えます。
●最低貯湯量を「湯多め」に設定されますと、昼間の沸増し時間が長くなり、電気料金が割高になる場合があります。

1. 運転モードが「おまかせ」であることを確認します。

2. 運転モード ◯ を5秒以上押します。

●設定表示に切り替わります。

〈表示部〉

おまかせ
標準

3. 給湯温度 低 高 を押し、最低貯湯量を選択します。

●設定が切り替わり点滅します。

湯多め ⇔ 標準 ⇔ 控えめ

湯量設定	最低貯湯量
標準	50L、100Lで自動的に切り替えます。(通常のご使用時)
控えめ	50L
湯多め	150L

4. 運転モード ◯ を押すと、設定完了です。

●スイッチが5秒以上押されないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。

表示消灯

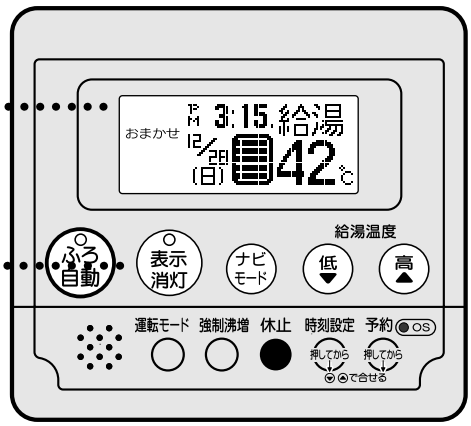
○ 台所リモコンと浴室リモコンを、自動で消灯する自動消灯モードと常に表示する常時点灯モードを切りかえることができます。

台所リモコン

表示部

お買い上げ時の設定
常時点灯

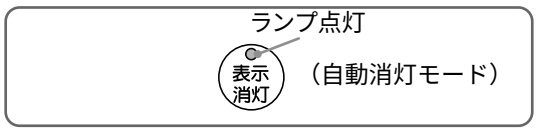
1，2



1. 表示消灯を押します。

●リモコンの表示が消灯し、表示消灯ランプが点灯します。（自動消灯モード）

●浴室リモコンの表示も台所リモコンと同様に消灯します。

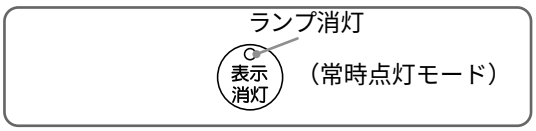


お知らせ

- **30分以上スイッチ操作や給湯を使用しないと表示は自動的に消灯します。**
- **貯湯量が少ない（「残湯少」点灯または点滅中）ときは、自動消灯モードでも表示は消えません。貯湯量が確保されれば消灯します。**
- **台所リモコンまたは浴室リモコンのどれかのスイッチを押すか、給湯を使用すると表示が点灯します。**
- **給湯中および、ふろ動作（ふろ自動、追いだき、たし湯、ふろぬるめ、呼出し）中は、自動消灯モードでも表示されます。**
- **「沸増し中」は、自動消灯モードでも表示されます。**

2. 常時点灯させるときは表示消灯を押します。

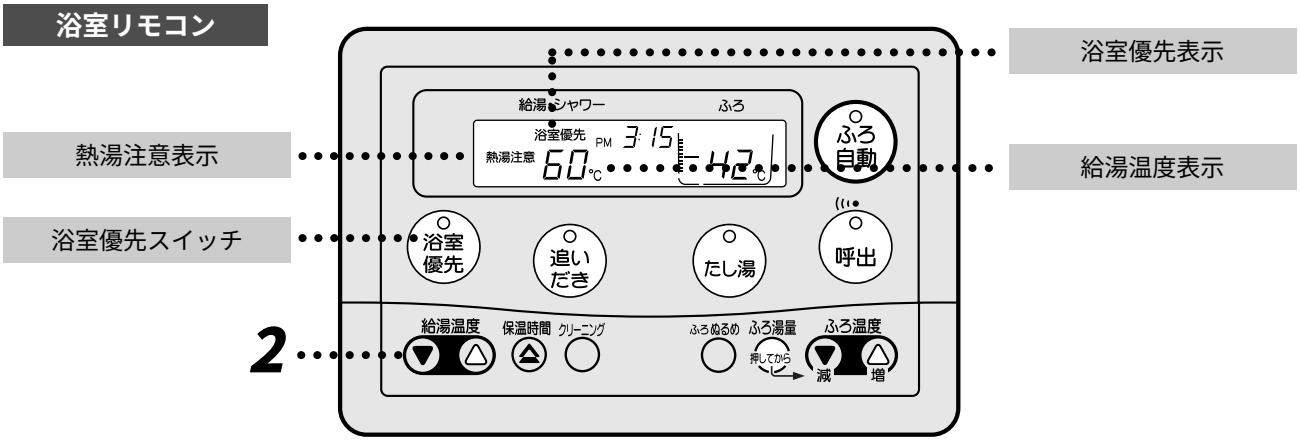
●表示が点灯し、表示消灯ランプが消灯します。（常時点灯モード）

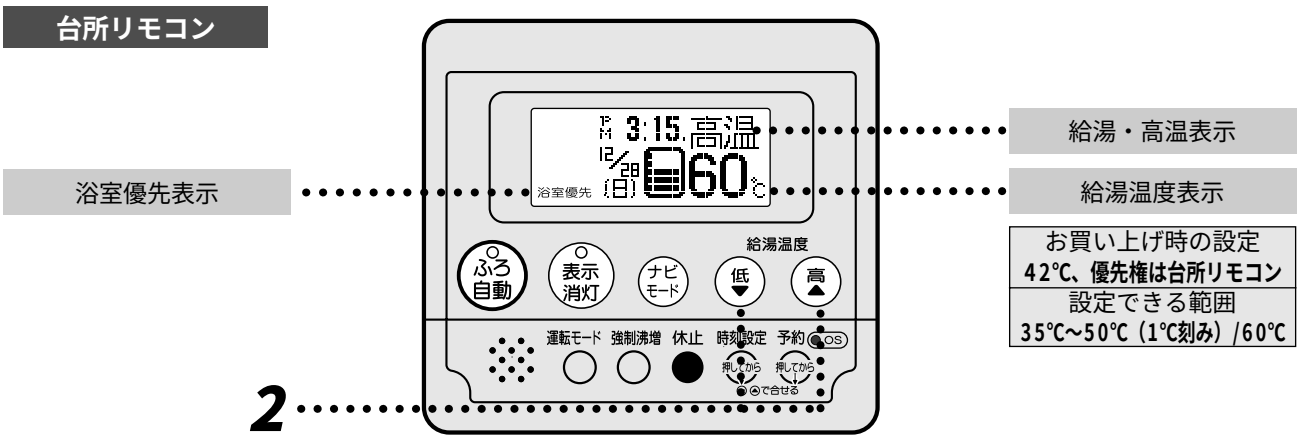


準備

台所・シャワーなどの給湯温度の設定

- 台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度を、まとめてお好みの温度に設定します。
- 台所リモコン・浴室リモコンのどちらからでも設定を行うことができます。





お買い上げ時の設定
42℃、優先権は台所リモコン
設定できる範囲
35℃～50℃（1℃刻み）/60℃

⚠警告

- **給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する。**
  やけどをすることがあります。
- **お湯を使う前には湯温を確認する。**
  やけどをすることがあります。

1. 優先権のあるリモコンを確認します。

優先リモコン	浴室リモコン表示		台所リモコン表示
浴室リモコン	〈点灯〉 浴室優先	〈点灯〉 浴室優先	〈点灯〉 浴室優先
台所リモコン	〈消灯〉 浴室優先	〈消灯〉 浴室優先	〈消灯〉 浴室優先

お知らせ

- **リモコンの優先権を変更するときは、浴室リモコンの（浴室優先）を押してください。**

2. （低）（高）を押し、温度を設定します。

給湯温度

- （高）を押すと給湯温度が高くなります。
- （低）を押すと給湯温度が低くなります。

お知らせ

- **給湯温度を60℃に設定すると、警告音とともに「熱湯注意」が表示され、台所リモコンには「高温」が表示されます。**
- **給湯温度が変更されると音声で案内されます。**
- **優先権のないリモコンで操作した場合は、操作は受け付けません。**
- **サーモスタット付き湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を、使用される温度より約10℃高く設定されることをおすすめします。**

3. 給湯栓を開けば、お湯がでます。

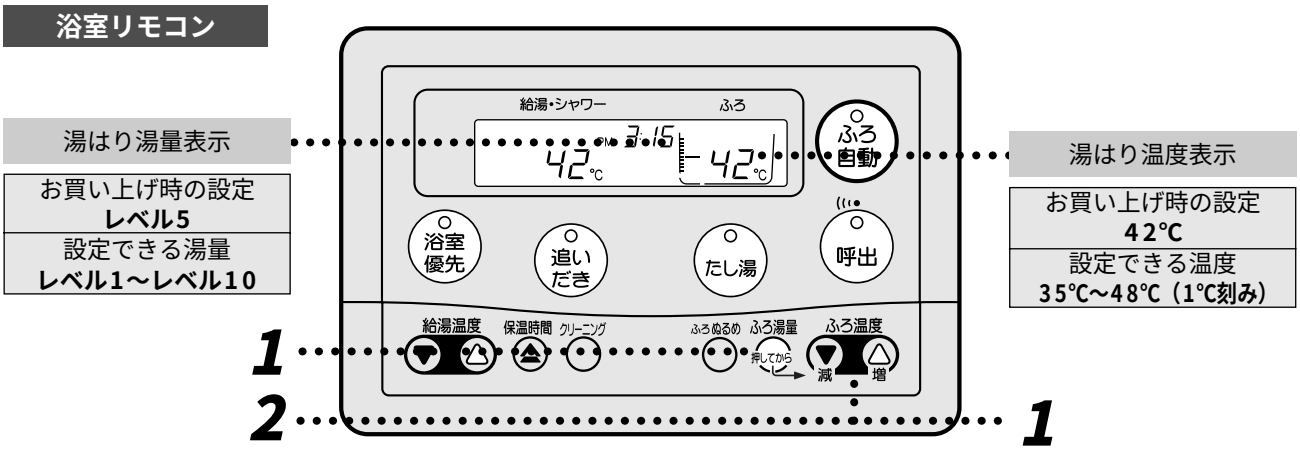
お知らせ

- **給湯温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの設定は目安としてお使いください。**
- **給湯開始後しばらくの間は、配管内の冷めた水がでます。**

ふろ自動運転

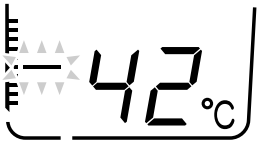
湯はり湯量と温度を設定します

○ 浴室リモコンでふろ自動運転時の浴槽の湯はり湯量と温度の設定をします。



1. ふろ湯量（押してから）を押します。

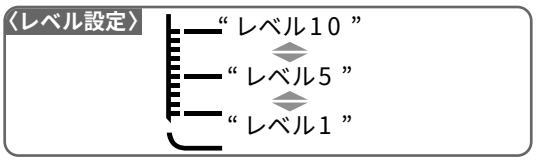
●湯量表示バーが点滅します。



2. ふろ温度（減・増）を押し、湯量を設定します。

● ふろ温度（増）を押すと1レベルずつ増加します。

● ふろ温度（減）を押すと1レベルずつ減少します。



お知らせ

●スイッチが5秒以上押されない場合は、その時の表示レベルで設定されます。

●1レベルあたり、約3cm水位が変わります。

1. ふろ温度（減・増）を押し、湯はり温度を設定します。

● ふろ温度（増）を押すと1℃ずつ高くなります。

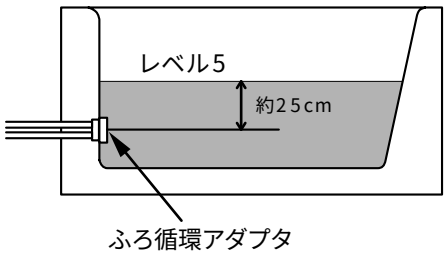
● ふろ温度（減）を押すと1℃ずつ低くなります。

お知らせ

●浴槽内のお湯の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの表示は目安としてお使いください。

ご参考

●湯はり湯量の「レベル5」はふろ循環アダプタの中心より約25cm高い水位になります。



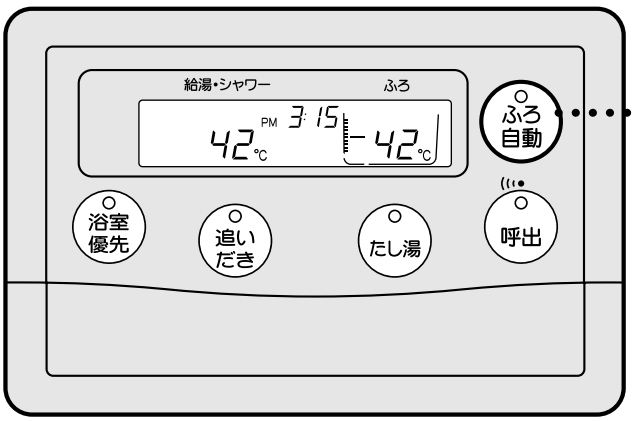
●レベル10で、ふろ循環アダプタの中心より約40cm高い水位になります。
浴槽の種類によっては「レベル10」以下で設定してもあふれることがあります。浴槽の深さに合わせて湯量を設定してください。

ふろ自動運転

湯はりのしかた

- スイッチを押すだけで、浴室リモコンで設定されている湯温・湯量で湯はりができます。
  （台所リモコン・浴室リモコンのどちらからでも行うことができます。操作は浴室リモコンで説明します。）
- 湯はりが終わると、音声でお知らせすると共に、自動的に保温とたし湯をする自動運転を行います。

浴室リモコン



2、3

湯はり時間の目安
15～20分
（1階の浴室、湯はり湯量レベル5のとき
一般的 200Lサイズ浴槽）

1. 浴槽を確認します。

- 残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じます。
- 浴槽にふたをします。

2. ふろ自動を押します。

- 音声でお知らせすると共にランプが点滅して自動湯はりを開始します。

お知らせ

- 「残り湯少」表示が点灯または、点滅したら、ふろ自動運転機能は受け付けません。台所リモコンの 強制沸増 を押すなどして、貯湯量を確保してから、ふろ自動運転機能をご使用ください。（→19、45ページ）
- 「C03」を表示して湯はりが止まるときは、貯湯量が不足しています。
  表示を解除するときは ふろ自動 を押します。（→56ページ）

3. ふろ自動運転を途中でやめるときはもう一度 ふろ自動 を押します。

お知らせ

- 湯はりが完了するとブザーと音声でお知らせします。
- 湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用されますと、湯はり時間が長くなることがあります。また、他の水栓の使用量が多く湯はり用に十分な流量が確保できないときは、湯はりを自動的に停止するときがあります。
- 「ふろ自動運転」は台所リモコンでも操作することができます。自動湯はり中に、どちらのリモコンからでも ふろ自動 を押すと湯はりを中止します。
- 湯はり完了後、設定された保温時間が経過すると「ふろ自動運転」は解除されます。
  （ふろ自動運転を続けたいときは、もう一度 ふろ自動 を押してください。）
- 湯はり動作中に、循環ポンプが運転しますが異常ではありません。
- ふろ自動運転中に排水したときは、お知らせ表示「C01」が表示されます。排水栓を閉じたのち、再度 ふろ自動 を押してください。
- 設置後2回目までの湯はりは浴槽サイズを学習する運転を兼ねていますので、湯はり時間が若干長くなります。
  （湯はり時間の目安：一般的200Lサイズ浴槽、レベル5のとき25～30分）
- 湯はり完了後の自動保温中に「残り湯少」表示が点灯または点滅した時、ふろ自動運転を解除すると、再度ふろ自動運転を受け付けることができません。
- 給湯とふろ湯はりを同時に行ったときは、給湯量が減少することがあります。

ふろ自動運転

ふろ自動運転中の動作と表示

○ ふろ自動運転中の浴槽の状態とリモコンの表示は次のようになっています。

	湯はり中	湯はり完了	自動保温	自動たし湯
浴槽			湯温が約1℃以上低下すると自動保温動作をします。（約20分に1回湯温を確認）	水位が約2.5cm以上下がると自動たし湯動作をします。
表示	（ランプ点滅） ふろ自動 保温中（消灯） （点灯）	（ランプ点灯） ふろ自動 保温中（点灯） （消灯）	（ランプ点灯） ふろ自動 保温中（点灯） （消灯）	（ランプ点灯） ふろ自動 保温中（点灯） （点灯）

⚠警告

●入浴するときはふろ循環アダプタから離れる。
やけどをすることがあります。
追いだきをするときや自動保温中または自動運転を終了したときに熱いお湯がでます。

お知らせ

●湯はりの途中で、配管内の泡がふろ循環アダプタからボコボコと出ることがあります。

●「保温中」表示が点滅するときは貯湯量が少なくなり（約50L未満）、保温機能が停止していることを表します。貯湯量が確保できれば自動的に保温動作を再開します。（深夜のみモードでご使用のときは、深夜以外は自動沸増ししませんので、強制沸増をご使用ください。）（→45ページ）

●ふろ自動運転を停止またはふろ自動運転が終了したときは、ふろ配管の洗浄のためふろ循環アダプタより約3Lの温水を出します。

お願い

●浴槽の残り湯を排水してから、湯はりをしてください。
残り湯があると湯はりできないことがあります。（この場合、お知らせ表示「C02」が表示されます。）（→56ページ）

●湯はり中は、給湯栓やシャワーなどから浴槽へ湯または水を足したり、湯をくみ出したりまたは排水したりしないでください。正常に湯はりできないことがあります。

●湯はり完了前に入浴しないでください。正常に湯はりできないことがあります。

ふろ自動運転

排水のしかた

1. **ふろ自動運転の停止を確認します。**

● ふろ自動 のランプが点灯しているときは、

ふろ自動 を押し、自動運転を停止します。

お知らせ

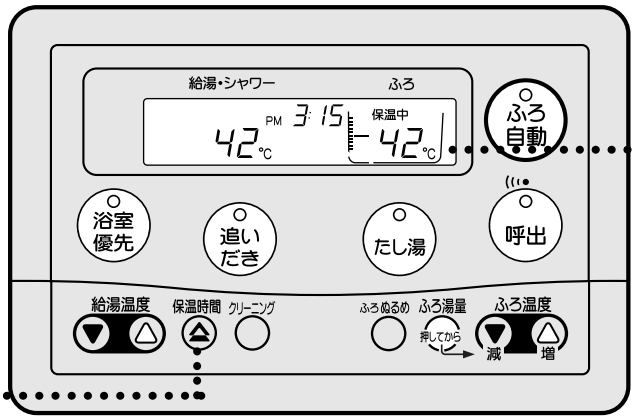
●ふろ自動運転を停止しないで排水したときは、お知らせ表示「C01」を表示します。（→56ページ）

2. **浴槽の排水栓を抜き、排水します。**

ふろ自動運転継続時間の設定

- ふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）の継続時間を設定することができます。
- ご家族の人数および入浴状況に合わせて継続時間を設定します。

浴室リモコン



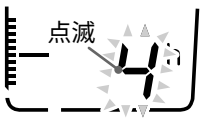
保温時間表示

お買い上げ時の設定
4時間（表示：4）
設定できる時間
0時間～6時間（1時間刻み）

1. 保温時間 を押します。

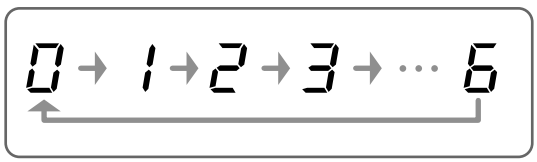
●湯はり温度表示から現在の保温時間表示に変わり、時間が点滅し変更可能になります。

〈表示部〉



2. 保温時間 を押し、継続時間を設定します。

● 保温時間 を押すごとに表示が切り替わります。



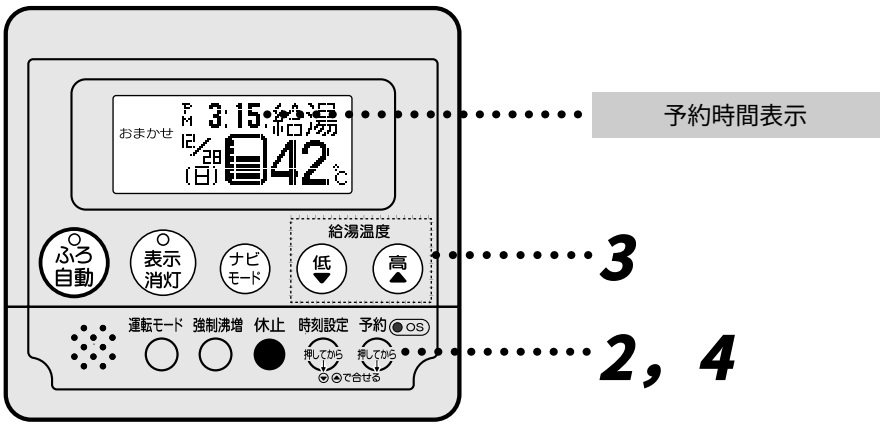
お知らせ

- **保温時間 が5秒以上押されない場合、その時の表示時間で設定され、湯はり温度表示に戻ります。**
- **継続時間を0時間に設定されますと、湯はり完了後の自動運転（自動保温・自動たし湯）は行われません。**

湯はり予約

- 湯はり予約を設定すると、予約した時刻に入浴できるよう自動湯はりを行います。
- 予約設定時刻は記憶されますので、同じ時刻に予約するときは時刻を再設定する必要はありません。

台所リモコン



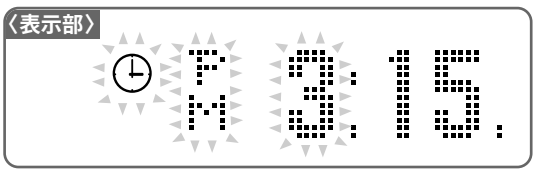
1. 浴槽を確認します。

●残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じます。
●浴槽にふたをします。

2. 予約（押してから）を押します。

● 🕒 および「時」が点滅し、予約モードに入ります。

〈表示部〉



お願い

●湯はり予約の設定は、入浴時刻（湯はり完了時刻）の1時間以上前に行ってください。
1時間以内に予約した場合は、予約した時刻に湯はりが完了しないことがあります。

3. 給湯温度 低 高 を押し、「時」を合わせます。

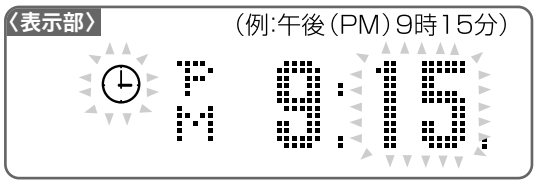
●高 を押すと1時間ずつ、進みます。
（押し続けると連続して進みます。）

●低 を押すと1時間ずつ、戻ります。
（押し続けると連続して戻ります。）

4. 予約（押してから）を押します。

●時間が設定され、「分」が点滅します。

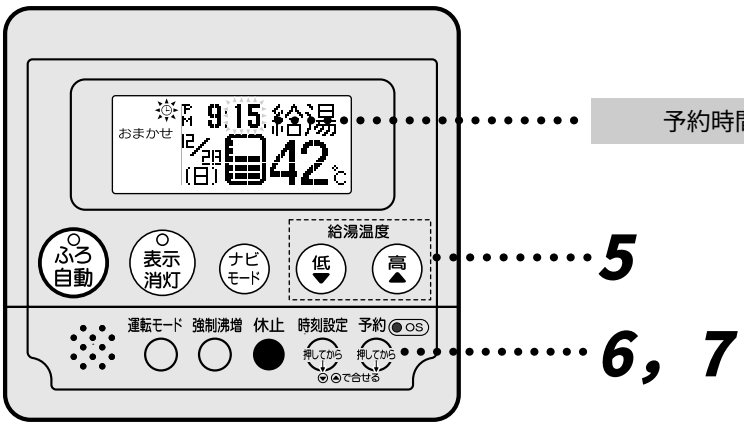
〈表示部〉 （例:午後（PM）9時15分）



おふろの使い方

湯はり予約

台所リモコン



5. 給湯温度 低 高 を押し、「分」を合わせます。

- 高 を押すと1分ずつ進みます。
  （押し続けると連続して進みます。）
- 低 を押すと1分ずつ戻ります。
  （押し続けると連続して戻ります。）

6. 予約 押してから を押すと、予約完了です。

- ◷ が点灯となり、現在時刻表示に変わります。
- 浴室リモコンにも予約の文字を表示します。

〈表示部〉 （例:午後（PM）9時）

◷ P 9:00.
M

7. 予約をやめるときはもう一度 予約 押してから を押します。

お知らせ

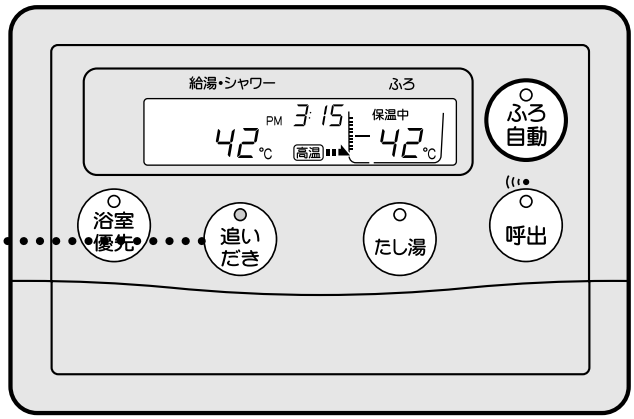
- **予約操作の途中に10秒以上スイッチが押されないと、途中の時刻が予約時刻となりますので、予約操作をやり直してください。**
- **台所リモコンの現在時刻が正確でないと、予約した時刻に湯はりが完了しません。**
- **湯はり予約は、湯はり動作が開始すると自動的に解除されますので、その都度予約操作を行ってください。**
- **湯はり予約中に ふろ自動 追いだき たし湯 ふろぬるめ クリーニング のいずれかを押すと、予約は解除されます。**
- **予約で湯はり中に、台所やシャワーなどから湯を使用されますと、予約時刻までに湯はりが完了しないときがあります。**

おふろの使い方

浴槽の湯温をあげる（追いだき）

- 浴槽湯温を約2℃上げるように追いだきします。
- ぬるくなった湯温を、約設定温度+1℃になるよう追いだきします。

浴室リモコン



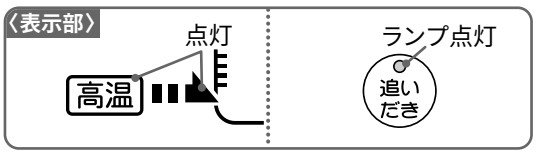
1，2

⚠警告

- 入浴するときは、ふろ循環アダプタから離れる。
- 浴槽にお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない。
  やけどをすることがあります。

1. 追いだき を押します。

- 表示部およびランプの点灯とともに、追いだきが行われます。



お知らせ

- 追いだき運転は、以下のように動作します。
  ①浴槽温度が設定温度より低い場合は
  設定温度＋1℃になるよう追いだきします。
  ②浴槽温度が設定温度より高い場合は
  約2℃湯温を上げるよう追いだきします。
- ふろ配管が冷めているときは、追いだき開始後しばらくの間は冷めた水がでます。
- 追いだき機能は、次の動作中は使用できません。
  - 自動湯はり中　・ふろぬるめ中
  - たし湯中　・ふろ配管洗浄（クリーニング）中
- 追いだきに要する時間は、浴槽湯量、貯湯温度により長くなる場合があります。

- 「残り湯少」表示が点滅したら、追いだき機能は受け付けません。台所リモコンの 強制沸増 を押すなどして、貯湯量を確保してから、追いだき機能をご使用ください。

貯湯量表示	ふろ自動	追いだき	たし湯
残り湯少（点滅）	受け付けません	受け付けます※1	受け付けません
残り湯少（点灯）			受け付けます
（バー表示が1つ以上点灯）	受け付けます※2	受け付けます	

※1 「深夜のみ」運転モードの場合、午前7時～午後11時の時間帯は受け付けません。
※2 バー表示が1つ以上点灯していても、数日間お湯を使用しないときなど貯湯タンク内の温度が低下していた場合、受け付けないことがあります。

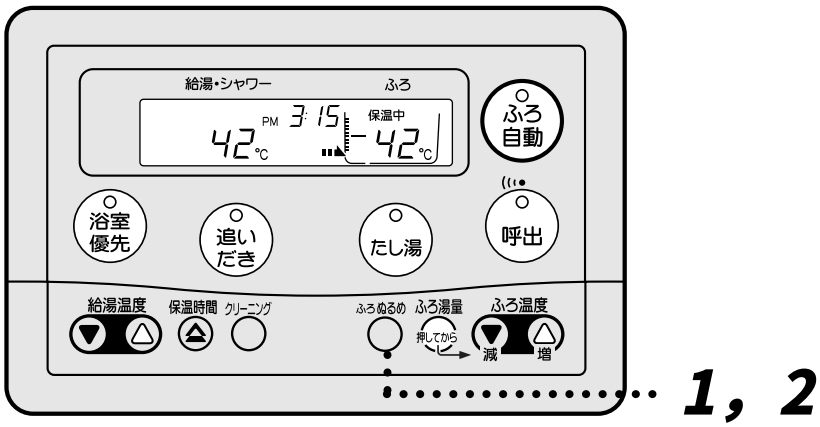
- 追いだき中、貯湯量が少なく（「残り湯少」点灯）なると、追いだきスイッチのランプが点滅し、追いだきが一時停止します。自動沸増しにより貯湯量が確保されると追いだきを再開します。
- 「深夜のみ」運転モードの場合、自動沸増ししませんので強制沸増をしてください。

2. 途中でやめるときは、もう一度 追いだき を押します。

浴槽の湯温をさげる（ふろぬるめ）

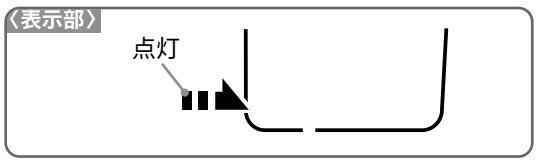
○ 湯温を約1℃さげるために必要な水（最大60L）がふろ循環アダプタから出ます。

浴室リモコン



1. ふろぬるめ ◯ を押します。

●さし水が行われます。



お知らせ

●さし水機能は、次の動作中は使用できません。

- 自動湯はり中
- たし湯中
- 追いだき中
- ふろ配管洗浄（クリーニング）中

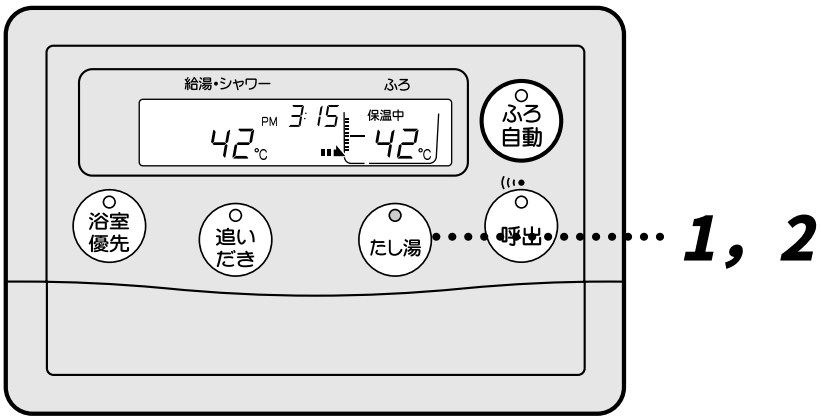
2. 途中でやめるときは、もう一度 ふろぬるめ ◯ を押します。

おふろの使い方

浴槽のお湯をふやす（たし湯）

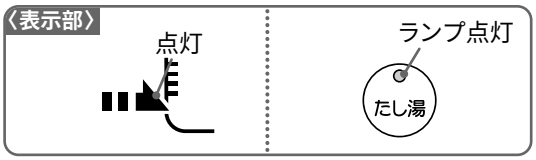
○ 設定されている温度のお湯（約20L）がふろ循環アダプタから出ます。

浴室リモコン



1. たし湯 を押します。

●表示部およびランプの点灯とともに、たし湯が行われます。



お知らせ

●ふろ配管が冷めているときは、たし湯開始後しばらくの間は冷めた水がでます。

●たし湯機能は、次の動作中は使用できません。

・自動湯はり中　・追いだき中

・ふろぬるめ中　・ふろ配管洗浄（クリーニング）中

●「残り湯少」表示が点滅したら、たし湯機能は受け付けません。台所リモコンの 強制沸増 を押すなどして、貯湯量を確保してから、たし湯機能をご使用ください。

貯湯量表示	ふろ自動	追いだき	たし湯
残り湯少（点滅）	受け付けません	受け付けます※1	受け付けません
残り湯少（点灯）			受け付けます
（バー表示が1つ以上点灯）	受け付けます※2	受け付けます	

※1 「深夜のみ」運転モードの場合、午前7時～午後11時の時間帯は受け付けません。

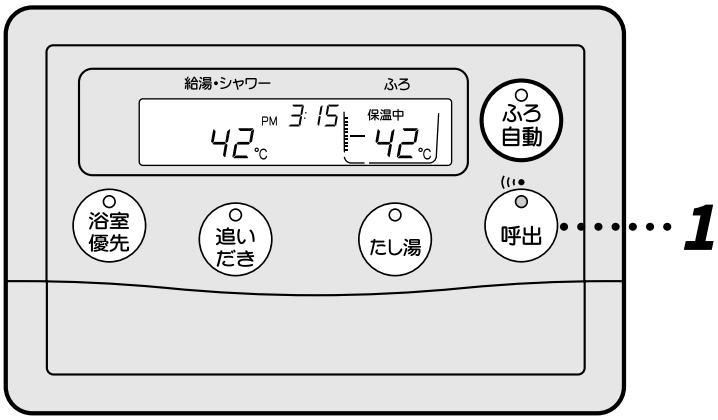
※2 バー表示が1つ以上点灯していても、数日間お湯を使用しないときなど貯湯タンク内の温度が低下していた場合、受け付けないことがあります。

2. 途中でやめるときは、もう一度 たし湯 を押します。

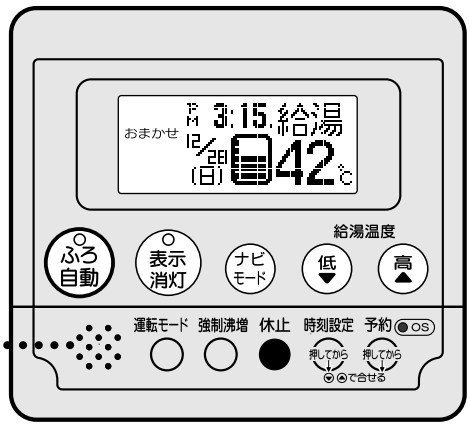
浴室内から人を呼ぶ

○ 浴室リモコンの呼出スイッチを押すと、台所リモコンのスピーカーから呼び出していることをお知らせします。

浴室リモコン



台所リモコン



スピーカー

1. 呼出 を押します。

●ランプが約5秒間点灯するとともに、ブザーおよび音声でお知らせします。

“ピッ ピッ ピッ ピッ” ×5回

**“ お風呂で呼んでいます、
お風呂で呼んでいます ”**

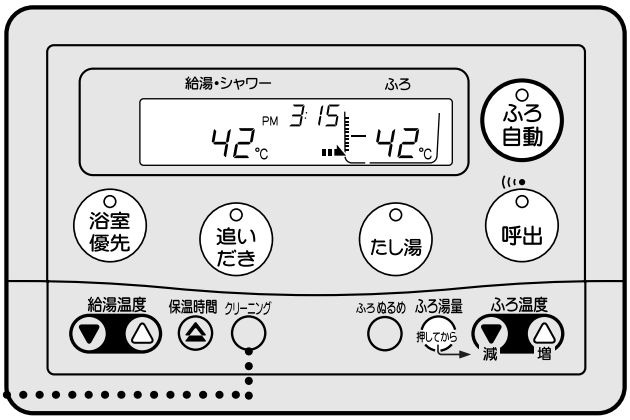
お知らせ

●呼出音声の音量調節はできません。

ふろ配管の洗浄（クリーニング）

- ふろ配管にたまった水をきれいな水で排水します。
- 快適にご使用いただくために、排水後毎回行うことをおすすめします。

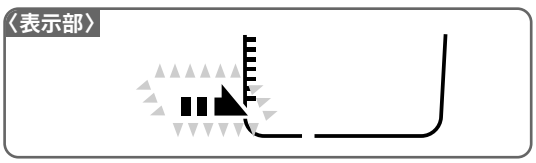
浴室リモコン



1，2

1. クリーニング を押します。

●表示部が点滅するとともに、約40Lの水で配管洗浄を行います。



お知らせ

●クリーニング機能は、次の動作中は使用できません。

- 追いだき中
- たし湯中
- ふろぬるめ中
- ふろ自動中

2. 途中でやめるときは、もう一度 クリーニング を押します。

オプション設定

○ 故障時の連絡先の電話番号登録やリモコンの音量、明るさ、強制沸増量などの設定ができます。

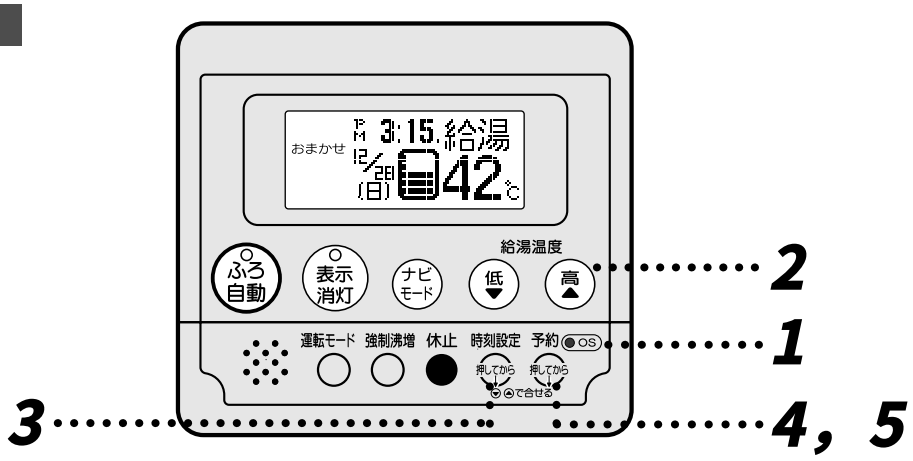
○ オプション設定の種類

No.	表示	内容	お買い上げ時の設定	設定できる範囲	ページ
1	ＴＥＬ登録	故障時の連絡先(サービス店)の電話番号を登録します	―	（電話番号入力）	37
2	メイン音量	台所リモコンの音量を設定します	中	無・小・中・大	38
3	リモコン操作音	リモコン操作音の有/無を設定します	有り	有り・無し	38
4	メイン輝度量	台所リモコン表示部の輝度量を設定します	明	暗・明	39
5	浴室輝度量	浴室リモコン表示部の輝度量を設定します	明	暗・明	39
6	強制沸増量	強制沸増し量を設定します	満タン	50L・100L・満タン	40

オプション設定（電話番号登録）

○ 故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録することができます。

台所リモコン



故障時連絡先（サービス店）登録

1. OS を押します。

お願い

●ボールペンの先のようなもので押してください。
（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

●次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び 「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

お知らせ

●10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に 高 を押し、「TEL登録」を選択します。

点滅 ＴＥＬ登録
_____

電話番号登録が設定されていないとき、全て「_」となり、一番左が点滅します。

3. 時刻設定 押してから を押し、番号を選択します。

点滅 ＴＥＬ登録
0_____

時刻設定 押してから を押すごとに数字が大きくなります。

4. 予約 押してから を押し、確定します。

点滅 ＴＥＬ登録
0_____

予約スイッチで確定すると、点滅表示部は一桁右へ移動します。

5. 3、4の手順を繰り返し、電話番号を設定します。右端が点滅のとき 予約 押してから を押すと先頭に戻ります。

（例）電話番号 ×××-△△△-×××× のとき

ＴＥＬ登録 点滅 ×××-△△△-××××_	➡	点滅 ＴＥＬ登録 ×××-△△△-××××_

お知らせ

● ナビモード を押すと、オプション設定モードが終了し、通常の表示に戻ります。

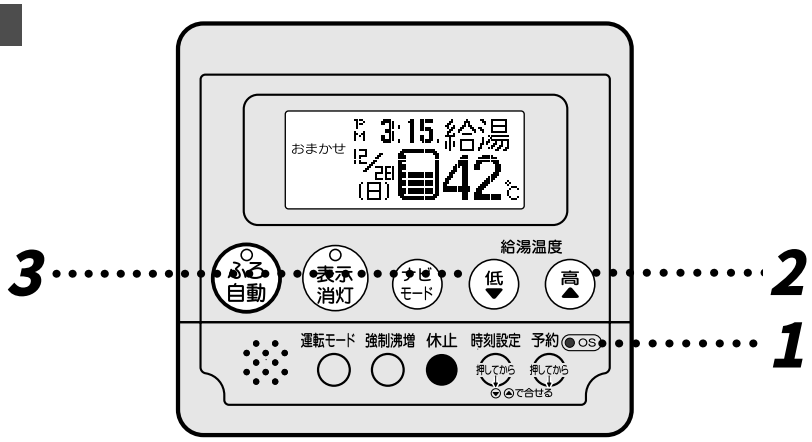
●スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。

● 高 を押すと、次の設定項目に移行します。

オプション設定（台所リモコン音量・リモコン操作音）

- 台所リモコンの音声ガイド音量を設定します。
- リモコン操作時の音の有／無を設定します。

台所リモコン



台所リモコン音量設定

1. OS を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押してください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に 高 を押し、「メイン音量」を選択します。

メイン音量
無 小 中 大
点滅

お買い上げ時は「中」が点滅します。

3. 低 を押し、点滅部を切り替えます。

メイン音量
無 小 中 大
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

リモコン操作音　有/無設定

1. OS を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押してください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に 高 を押し、「リモコン操作音」を選択します。

リモコン操作音
有り 無し
点滅

お買い上げ時は「有り」が点滅します。

3. 低 を押し、点滅部を切り替えます。

リモコン操作音
有り 無し
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

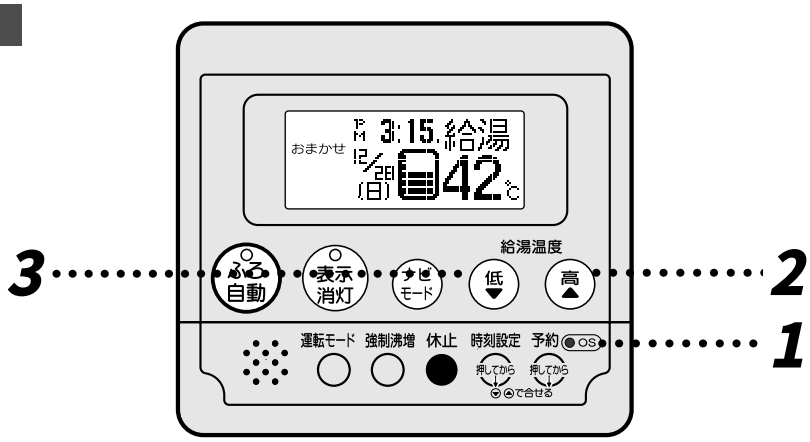
お知らせ

- ナビモード を押すと、オプション設定モードが終了し、通常の表示に戻ります。
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
- 高 を押すと、次の設定項目に移行します。

オプション設定（台所リモコン輝度量・浴室リモコン輝度量）

- 台所リモコンの表示部の輝度（明／暗）を設定します。
- 浴室リモコンの表示部の輝度（明／暗）を設定します。

台所リモコン



台所リモコン輝度量設定

1. OS を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押してください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に 高 を押し、「メイン輝度量」を選択します。

メイン輝度量
暗　明
点滅

お買い上げ時は「明」が点滅します。

3. 低 を押し、点滅部を切り替えます。

メイン輝度量
暗　明
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

浴室リモコン輝度量設定

1. OS を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押してください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に 高 を押し、「浴室輝度量」を選択します。

浴室輝度量
暗　明
点滅

お買い上げ時は「明」が点滅します。

3. 低 を押し、点滅部を切り替えます。

浴室輝度量
暗　明
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

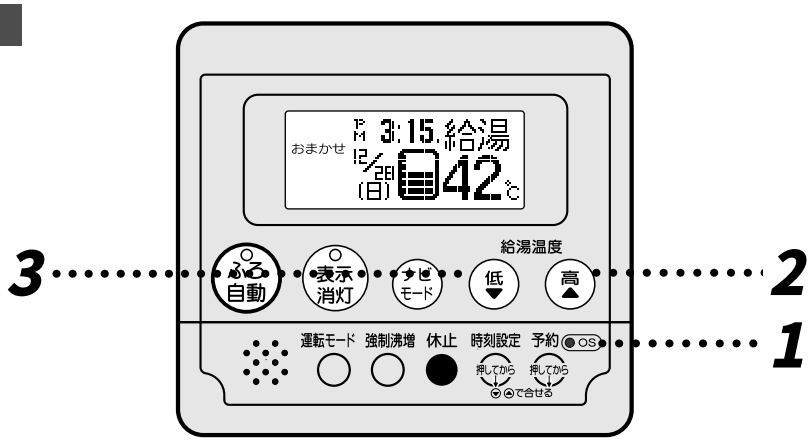
お知らせ

- ナビモード を押すと、オプション設定モードが終了し、通常の表示に戻ります。
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
- 高 を押すと、次の設定項目に移行します。

オプション設定（強制沸増量）

○ 強制沸増量（50L・100L・満タン）を設定します。

台所リモコン



強制沸増量設定

1. OS を押します。

お願い

●ボールペンの先のようなもので押してください。
（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

●次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定	➡	「高」で選び 「低」で選択
3秒点灯		10秒点灯

お知らせ

●10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に 高 を押し、「強制沸増量」を選択します。

強制沸増量
50L 100L 満タン
点滅

お買い上げ時は「満タン」が点滅します。

3. 低 を押し、点滅部を切り替えます。

強制沸増量
50L 100L 満タン
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

お知らせ

● ナビモード を押すと、オプション設定モードが終了し、通常の表示に戻ります。

●スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。

● 高 を押すと、次の設定項目に移行します。

MEMO

ナビモード

○ 使用可能湯量や使用湯量、風呂保温残り時間等の情報を表示します。

○ ナビモードの種類

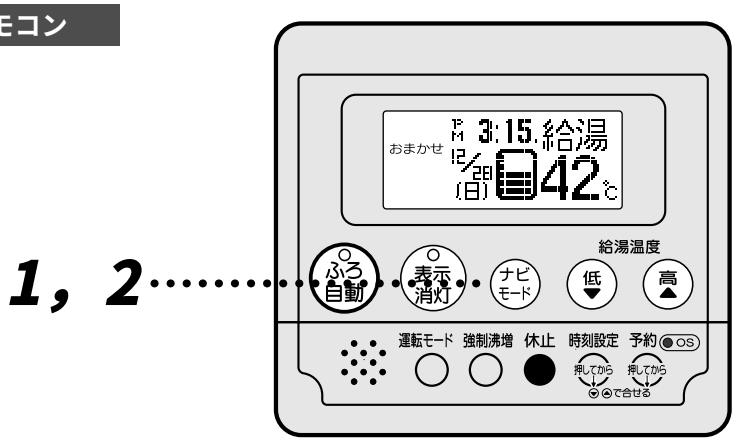
No.	表示	内容	ページ
1	使用可能湯量	湯はり可能回数（0または1回）および、湯はり可能回数分を除いた残り湯でのシャワー使用可能時間の目安を表示します。※1	43
2	１週間の使用湯量	前日から過去１週間分の、曜日別使用湯量を表示します。※2	43
3	運転モードを診断します	お湯の使用量に応じて、運転モードの設定の診断を行います。（運転モードが「おまかせ」に設定されているときのみ診断します。）※3	44
4	貯湯温度	現在の貯湯タンク上部の温度を表示します。	44
5	風呂保温残り時間	ふろ自動運転の継続時間の残り時間を表示します。	44
6	サービス店TEL	故障時の連絡先の電話番号を表示します。（オプション設定で電話番号登録が必要です。）	44

※1　湯はり可能回数（0または1回）は、貯湯タンクユニットの貯湯量をもとに湯はり可能な回数を計算します。シャワー使用可能時間は、湯はり可能回数分を除いたシャワーに使用できるおよその時間を計算し、表示します。
※2　使用湯量は、43℃に換算した湯量を表示します。
年・月・日が正しく設定されていないと、曜日が正しく表示されません。（→15ページ）
※3　運転モード診断は、過去1週間分の使用湯量が記憶されないと表示されません。

ナビモード

○ 使用可能湯量表示、1週間の使用湯量表示

台所リモコン

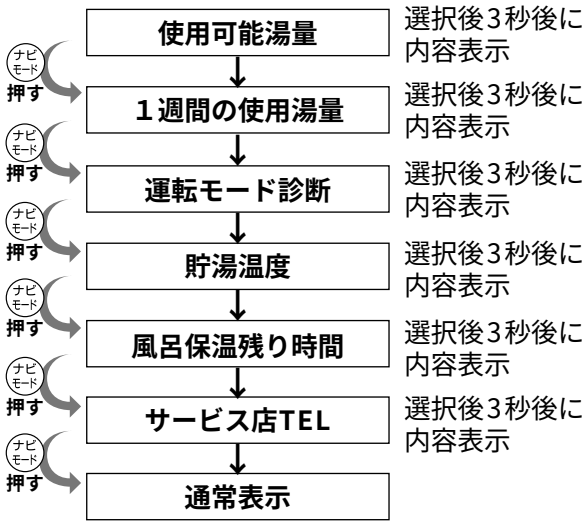


1. ナビモード を押します。

●「ナビモード」が3秒間表示され、その後ナビモード選択項目表示へ移行します。

2. 設定項目表示中に ナビモード スイッチを押し、選択項目を切り替えます。

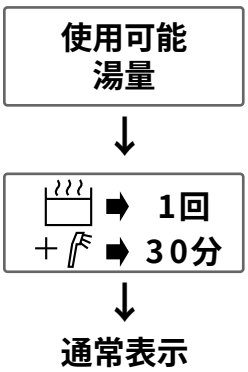
●選択項目は、次の順番で切り替わります。選択項目表示中に、3秒以上ナビモードスイッチを押さなかったときに選択項目の内容を表示します。



お知らせ

●選択項目の内容表示を30秒間行ったとき、または、ナビモードスイッチが押されたときは、ナビモードを終了し、通常表示となります。

使用可能湯量表示



ナビモード選択項目表示

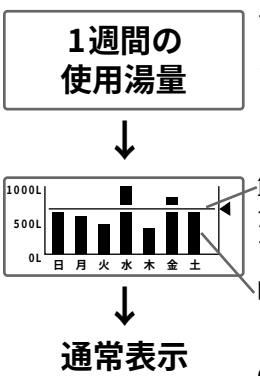
3秒点灯

浴槽マークは、湯はり可能回数の目安を表示します。

シャワーマークは、湯はりを除いた残り湯量でのシャワー使用可能時間の目安を5分単位で表示します。

●使用可能湯量は、30秒間表示します。

1週間の使用湯量表示



ナビモード選択項目表示

3秒点灯

節約ラインは、深夜のみの沸上げだけで対応できる目安を表示します。

曜日別使用湯量表示は、前日から1週間分を表示します。

●1週間の使用湯量は、30秒間表示します。

ナビモード

○ 運転モード診断表示、貯湯温度表示、風呂保温残り時間表示、サービス店電話番号表示。

運転モード診断表示

お知らせ

- **運転モードが「おまかせ」に設定されている場合のみ診断します。**
- **運転モード診断により「深夜のみ」運転モードを設定された後は、こまめな診断をおすすめします。「運転モード診断」は過去１週間の使用湯量より診断しますので、「深夜のみでもＯＫ」と表示されても、季節、使用状態の変化によってはお湯が不足する場合があります。**

運転モードを診断します
ナビモード選択項目表示
3秒点灯

↓

深夜のみでもOK
診断結果により、「おまかせを・継続ください」または「深夜のみ・でもOK」を表示します。

↓

通常表示

●運転モード診断は、30秒間表示します

貯湯温度表示

貯湯温度
ナビモード選択項目表示
3秒点灯

↓

86℃です
●貯湯温度は、30秒間表示します。

↓

通常表示

風呂保温残り時間表示

風呂保温残り時間
ナビモード選択項目表示
3秒点灯

↓

1時間30分です
●風呂保温残り時間は、30秒間表示します。

↓

通常表示

サービス店電話番号表示

お知らせ

- **サービス店の電話番号が設定されている場合のみ表示します。**

サービス店TEL
ナビモード選択項目表示
3秒点灯

↓

TEL
XXX-△△△-XXXX_
●サービス店電話番号は、30秒間表示します。

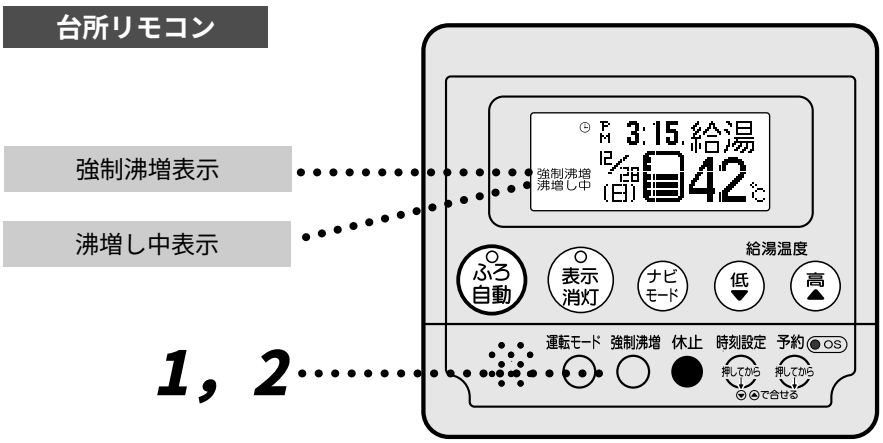
↓

通常表示

お湯をたくさん使うとき（強制沸増）

○ 来客などでたくさんのお湯が必要なときは、強制沸増を使用して貯湯タンクのお湯を沸増しします。

台所リモコン



お買い上げ時の設定
満タン
設定できる沸増量
50L・100L・満タン

お知らせ

●強制沸増量は、オプション設定で、50L、100L、満タンを設定します。（→40ページ）

満タン設定のとき

1. 強制沸増 ◯ を押します。

●強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、沸上げを行います。

●貯湯量が約250L未満になると、「沸増し中」表示を点灯させ、満タンまで沸上げます。

2. 途中でやめるときは、もう一度 強制沸増 ◯ を押します。

お知らせ

● 強制沸増 ◯ を押した日（押してから、その日の深夜まで）は何回でも沸上げ運転を行います。ただし、深夜（午後11時）に強制沸増は解除され、通常の運転に戻ります。

続けて強制沸増をする場合は、再度 強制沸増 ◯ を押してください。

●強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。

●強制沸増を使用すると、昼間電力で沸上げを行うため電気料金は割高になります。

50L・100L設定のとき

1. 強制沸増 ◯ を押します。

●強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、設定された量を沸上げます。

●約50Lまたは約100Lを沸上げたら、沸増しは終了します。

2. 途中でやめるときは、もう一度 強制沸増 ◯ を押します。

お知らせ

●強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。

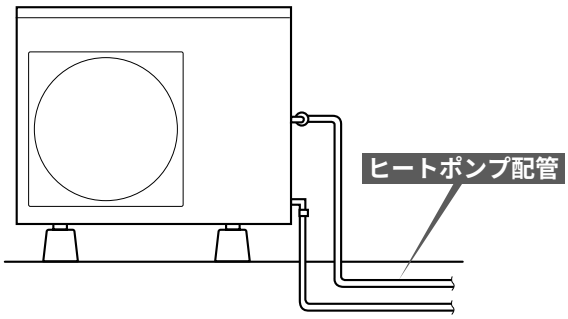
●強制沸増を使用すると、昼間電力で沸上げを行うため電気料金は割高になります。

冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。（凍結によって破損すると保証期間中でも有料修理となります。）
- お取付店へ相談し、適切な凍結予防対策をしてください。

ヒートポンプ配管の凍結予防

- 凍結しそうな気温になると、ヒートポンプを自動的に運転してヒートポンプ配管の凍結を予防します。



1. 電源を入れたままにしておく。

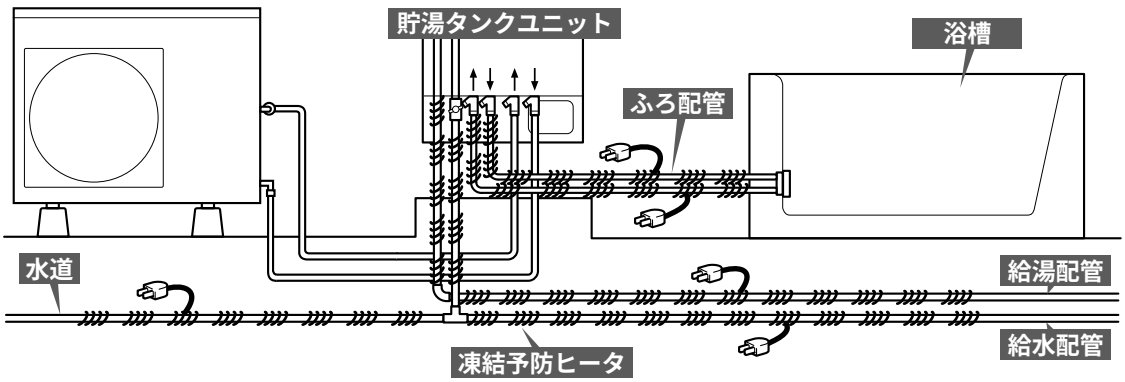
2. 外気温が約3℃以下になると、ヒートポンプを運転し、ヒートポンプ配管に水を循環させます。

⚠注 意

●**電源を「OFF」にしない。**
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。

凍結予防ヒータ（その他配管の凍結予防）

- 凍結予防ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差込みます。
- 凍結予防ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。



⚠注 意

●**配管の凍結予防対策を確認する。**
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

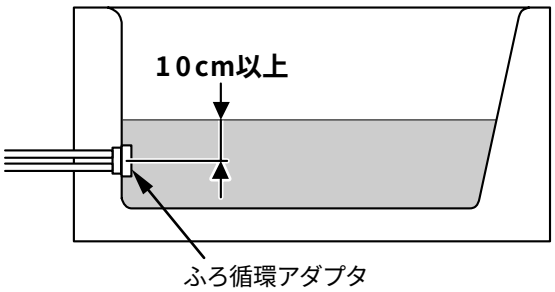
お願い

●**配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水用）を閉じて、お取付店へご連絡ください。**

冬期の凍結予防について

浴槽の残り湯循環（ふろ配管の凍結予防）

○ 凍結しそうな気温になると、循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。



1. **入浴後、浴槽の湯を排水せず残しておく。**

●ふろ循環アダプタ中心より10cm 以上の水位としてください。

2. **外気温が約3℃以下になると、自動的に循環ポンプを運転し、ふろ配管に残り湯を循環させます。**

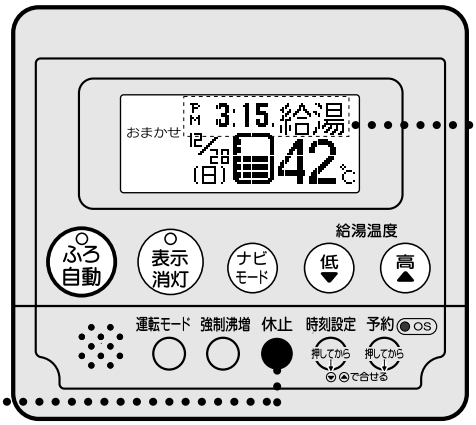
お知らせ

●浴槽に残り湯がない場合は、循環ポンプが1回（数分間）運転して停止します。
ふろ配管の凍結予防はできません。

数日間お湯を使用しないとき

○ 旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸上げを停止させることができます。

台所リモコン



使用再開日数表示

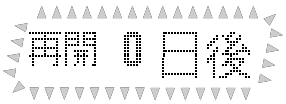
お買い上げ時の設定
0日（なし）
設定できる範囲
0日〜15日（1日刻み）

1，2，4

1. 休止● を押します。

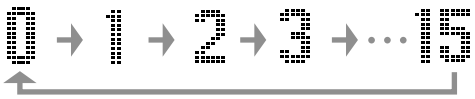
●時刻表示から、使用再開日数表示に変わり、数字が点滅します。

〈表示部〉



2. 休止● を押し、期間を設定します。

● 休止● を押すごとに1日ずつ期間が長くなります。



3. そのまま5秒経過すると設定完了です。

●表示は点滅から点灯に変わります。

（設定例1）
12月1日に出発し、12月5日に帰宅する4泊5日の旅行の場合。（1日は入浴せず、5日は入浴する。）

4　泊　5　日

出発日（12月1日）に使用再開日数を「**4**」日後に設定

（設定例2）
使用再開日数を「1」日後に設定した場合、設定したときからその日の23時までの沸上げが停止します。

4. 休止中を停止する場合は、もう一度 休止● を押します。

お願い

- **電源を「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある気温になると、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニット内の凍結を予防します。**
  また、貯湯タンク内は凍結防止ヒータで凍結を予防します。
- **1箇月以上の休止期間の場合は、次ページの操作を行ってください。**

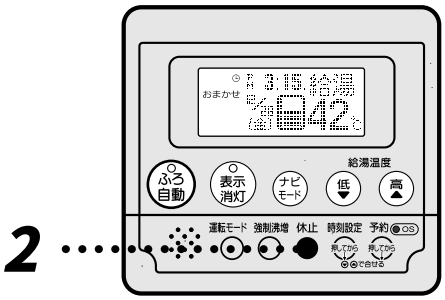
長期間お湯を使用しないとき

- 1箇月以上ご使用されないときは、運転を止め貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜きます。
- 排水をするときは、やけどなどの防止のため、貯湯タンクユニットのお湯を使いきって（水の状態にして）から行ってください。

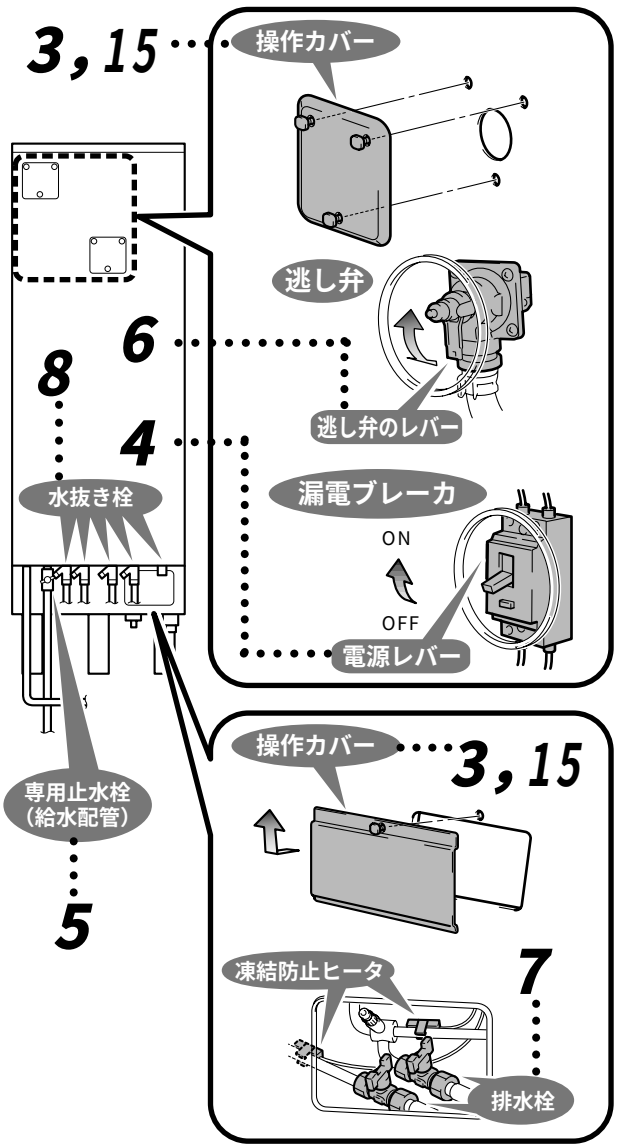
⚠注 意

●1箇月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする。
排水しないと水質が変化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

台所リモコン



貯湯タンクユニット



1. タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば、台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。

●熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。

2. 台所リモコンの 休止● を2回押し、休止1日の設定にします。

3. 貯湯タンクユニットの操作カバー（3箇所）を取りはずします。

4. 運転停止を確認し、1分以上経過後に貯湯タンクユニットの漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。

5. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。

6. 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げます。

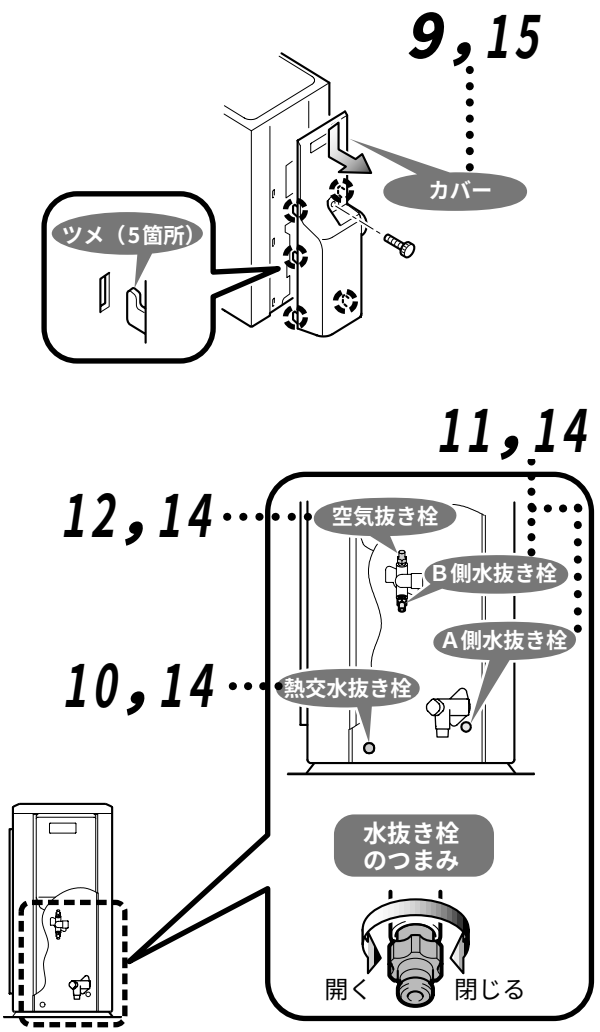
7. 貯湯タンクユニットの排水栓（2箇所）を開きます。

●水が抜けるまでに約30分かかります。

8. 貯湯タンクユニットの水抜き栓（5箇所）を開きます。

長期間お湯を使用しないとき

ヒートポンプユニット



9. **ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジを取りはずし、下方へスライドさせ、ツメ（5箇所）をはずし、カバーを取りはずします。**

●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損する恐れがあるので注意してください。

10. **ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開きます。**

●開けたままにしておいてください。

11. **ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓（2箇所）を開きます。**

●開けたままにしておいてください。

12. **ヒートポンプユニットの空気抜き栓（1箇所）を開きます。**

●下側のB側水抜き栓からの排水を確認します。

13. **配管の途中に水抜き栓が設けられているときは、これも開きます。**

14. **排水が終わったらすべての水抜き栓・空気抜き栓を元どおり閉じます。**

15. **貯湯タンクユニットの操作カバーとヒートポンプユニットのカバーを元どおり取り付けます。**

⚠警 告

●**排水時はお湯に手を触れない。**

●**貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。**
やけどをすることがあります。

お願い

●**再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→13ページ）の手順の準備作業を行ってください。**

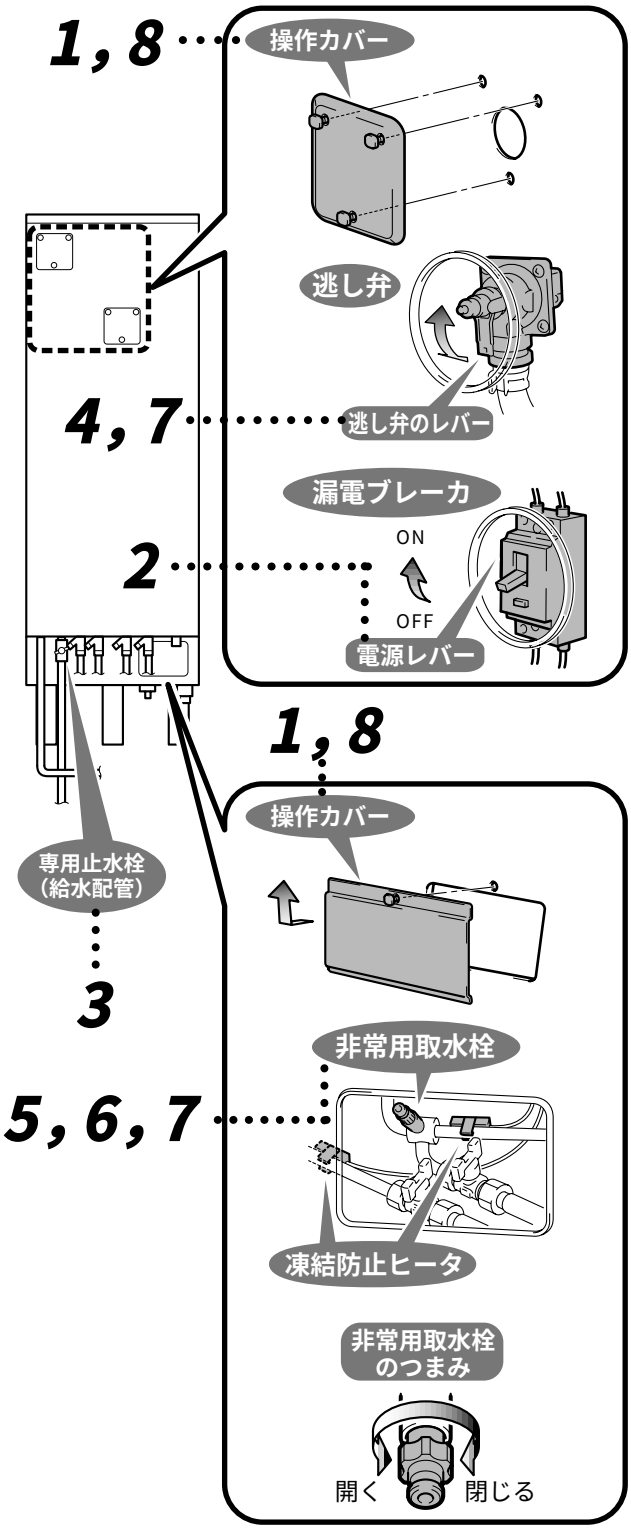
●**水抜き作業後に逃し弁のレバーが下がっていること、排水栓、水抜き栓および空気抜き栓が閉じていることを確認してください。**

●**凍結する恐れの高い地域でご使用の場合は、お取付店または東陶メンテナンス（株） 0120-1010-05（フリーダイヤル）に連絡し貯湯タンクユニット内部の水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することができません。（有料となります。）**

断水のときなどにお湯を取出す

○ 万一の地震などの災害時は、貯湯タンクユニット内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

貯湯タンクユニット



準備するもの
ホース（内径φ8mm、長さ1m程度で耐熱性のあるもの）
容器（ポリタンク、バケツなど）

⚠警 告

- **取水時はお湯に手を触れない。**
- **貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。**
  やけどをすることがあります。

⚠注 意

- **そのまま飲用に用いない。**
  長期間のご使用により、貯湯タンクユニット内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

1. **貯湯タンクユニットの操作カバー（3箇所）を取りはずします。**

2. **貯湯タンクユニットの漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。**

3. **専用止水栓（給水配管）を閉じます。**

4. **貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げます。**

5. **ホース（内径φ8）を貯湯タンクユニットの非常用取水栓に差し込みます。**

6. **非常用取水栓を開き、容器に受けます。**

7. **取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ逃し弁のレバーを下げます。**

8. **操作カバーを元どおり取り付けます。**

お願い

- **再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→13ページ）の手順の準備作業を行ってください。**

停電したときや断水・水道工事が行われるとき

停電が10分以上続いた場合

ふろ自動運転

●停電が10分以上続くと、ランプが消灯しふろ自動運転停止となります。

停電終了後、（ふろ自動）を押してください。

●「C03」を表示して湯はりが止まるときは56ページを参照してください。

停電により時刻が止まってしまった場合

○ 停電が4時間以上継続した場合は、時刻表示が「ー:ーー」を点滅してお知らせします。（短時間の停電であればメモリ機能により保存されますので、以下の操作は必要ありません。）

再設定が必要な機能

●次の機能はお買い上げ時の設定に戻りますので、ご使用の状態に合わせて再設定してください。

再設定が必要な機能	説明ページ
時刻	→15ページ
電力契約モード	→17ページ
運転モード	→18ページ
沸上げ温度	→20ページ
最低貯湯量	→21ページ
表示消灯	→22ページ
給湯温度と優先リモコン	→23ページ
湯はり湯量と温度	→24ページ
ふろ自動運転継続時間	→28ページ
オプション設定	→36ページ

お知らせ

●時刻合わせをしないと沸上げできません。

作動が停止または解除される機能

●次の機能は作動が停止または解除されますので、もう一度操作してください。

作動が停止または解除される機能	説明ページ
ふろ自動	→24ページ
湯はり予約	→29ページ
強制沸増	→45ページ

お願い

●浴槽の湯がさめてしまった場合は、浴槽内の湯を全部排水してから、ふろ自動をやり直してください。

ヒートポンプユニットの沸上げ（深夜時間帯の停電の場合）

○ 短時間停電の場合は、停電終了後沸上げを行います。
○ 4時間以上続いた場合は、沸上げできませんので時刻合わせをしてください。

断水や近くで水道工事が行われるとき

○ 工事が行われる前に専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
○ 工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いて使用を再開してください。

お知らせ

●濁った水が貯湯タンクユニット内のフィルターを目詰まりさせ、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

お願い

●断水している時はお湯を使用しないでください。お湯を使用されると故障コードを表示する場合があります。

定期点検（有料）

定期点検のおすすめ（有料）

○ **自然冷媒ヒートポンプ式給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）をおすすめします。**
定期点検については、お取付店または東陶メンテナンス（株） 0120-1010-05（フリーダイヤル）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

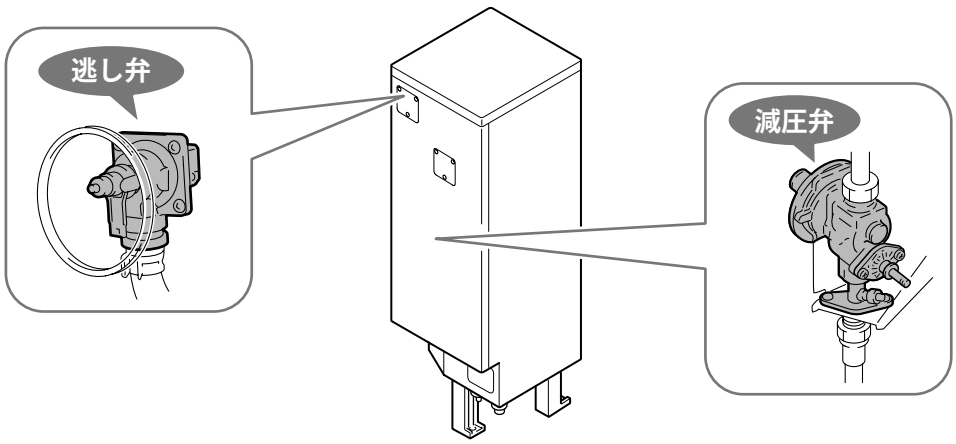
部品交換時期のめやす

○ **自然冷媒ヒートポンプ式給湯機の部品の寿命は、沸上がり温度、水質など使用する条件によってかわりますが、一般的な交換時期のめやすを参考にしてください。**

部品名	交換時期のめやす（お取付け日より）	補修方法	補修の必要性
逃し弁	3～5年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少しシール性がなくなったりゆるんだりします。また弁類は水中のスケールによって水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
減圧弁	5～7年	交換	
自動給湯部品（循環ポンプ、電動弁類等）	5～7年	交換	長期間使用すると、水中のスケールによって水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
配管保温材	3～5年	補修	太陽の紫外線によって劣化することがあります。
ゴム継手、Oリングなど	5～7年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少し水漏れすることがあります。
ヒートポンプユニット電気部品（ファンモータ、給水ポンプ等）	5～7年	交換	長期間使用すると、消耗により異音がしたり動かなくなったりすることがあります。

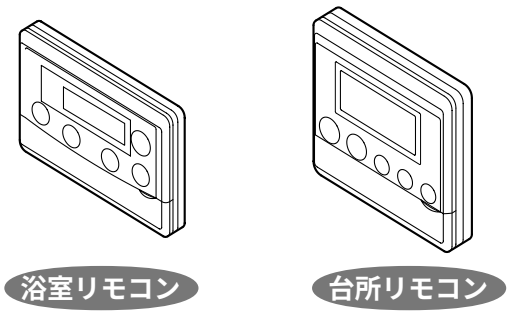
消耗部品の交換

○ **逃し弁、減圧弁は消耗品です。上記「部品交換時期のめやす」を参考に部品を交換してください。**



お手入れと日常点検

リモコンのお手入れ（日常）



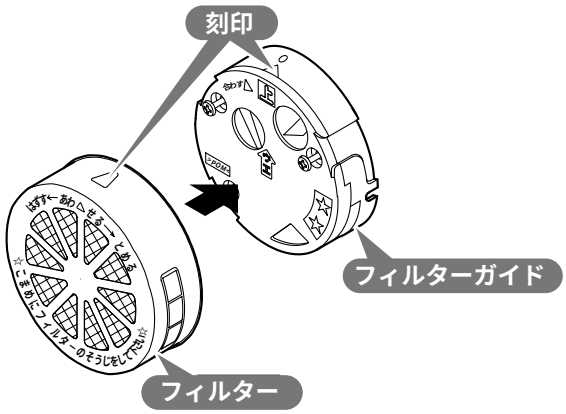
●リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

お願い

●リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。

●洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

ふろ循環アダプタのお手入れ（1週間に1回）



●フィルターが目詰まりすると、沸上がりに時間がかかったり、浴槽内の温度にバラツキが生じますので1週間に1度以上は掃除をしてください。

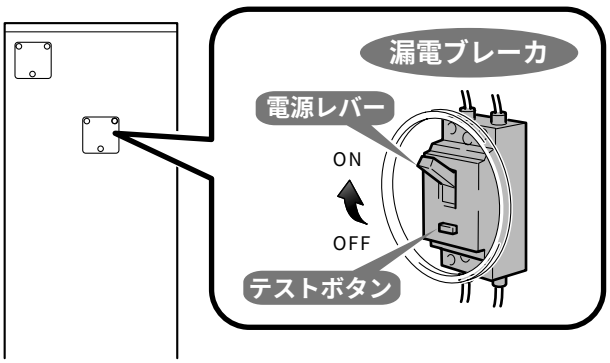
[手順]
①フィルターを左に回して、カチッと鳴ったら手前に引いて取り外す。
②フィルター部分のゴミを水で洗い流す。
③フィルターを元どおりに取り付ける。

※ふろ循環アダプタには、さまざまなタイプがありますので取り外し方法が異なる場合があります。

※酸やアルカリを含んだふろ用洗剤は、機器やふろ循環アダプタの腐食の原因になりますので使用しないでください。洗剤を使う場合は、洗剤に記載されている注意文をよくお読みのうえご使用ください。また、固形成分の多い入浴剤は使用をひかえてください。

漏電ブレーカの動作点検（年に2～3回）

貯湯タンクユニット



●200V電源供給中に、貯湯タンクユニットの漏電ブレーカのテストボタンを押してください。

お知らせ

●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。

●点検終了後は、電源レバーを「ON」に戻してください。

⚠警 告

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。

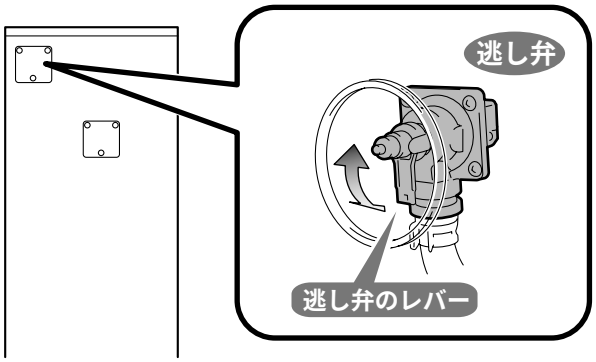
お手入れと日常点検

逃し弁の点検（年に2～3回）

⚠警 告

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

貯湯タンクユニット



●貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを2～3回上下に動かしてください。

お知らせ

●上げたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。

●点検終了後は、逃し弁のレバーを下げてください。

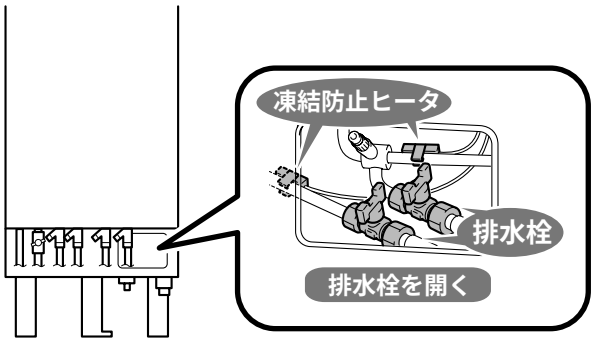
⚠注 意

●逃し弁の点検をする。
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破裂したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

●貯湯タンクユニットの操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

貯湯タンクユニットのお手入れ1（年に2～3回）

貯湯タンクユニット



●貯湯タンクユニットの、排水栓（2箇所）を開き、貯湯タンクユニット内の水を排水します。
●1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水栓（2箇所）を閉じてください。

⚠警 告

●排水時にはお湯に手を触れない。

●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

貯湯タンクユニットのお手入れ2（年に1回）

●「長期間お湯を使用しないとき」の手順で、機器内の水をすべて排水してください。（→49ページ）
●排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返してください。
●清掃完了後「はじめてご使用になるとき」の手順の準備作業を行ってください。（→13ページ）

故障かなと思ったら

こんな時は故障ではありません

○ ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す。
気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。
気温が低いときは、ヒートポンプ配管の凍結防止のため、運転/停止を繰り返します。

○ 深夜時間帯にヒートポンプユニットが動いていない。
運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。

○ 排水口からお湯が出ている。
沸上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

○ 沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる。
冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

○ 気温が低いとき、ふろ循環アダプタからポンプの運転音がする。
凍結予防のため、浴槽の残り湯を循環ポンプで循環させます。（→47ページ）

○ リモコンの時刻表示が「－：－－」で点滅する。
停電が原因です。時刻合わせをしてください。（→15ページ）

○ 沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの下部から水が出る。
ヒートポンプが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでてきます。

○ ふろ自動運転停止時にふろ循環アダプタからお湯が出る。
ふろ自動運転が停止したときに、保温配管洗浄のため約3Lのお湯が出ます。

お知らせ表示（故障ではありません）

○ 動作の異常を検知したときふろ自動ランプが点滅し、リモコンに次のように表示しピピピピッと鳴ってお知らせします。その場合は、次の処置をしてください。(台所リモコンは5 秒ごとに表示が切り替わります。)

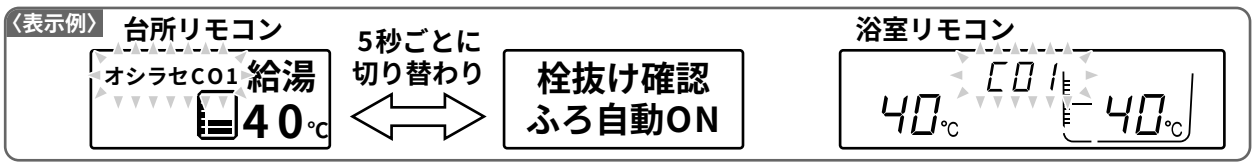


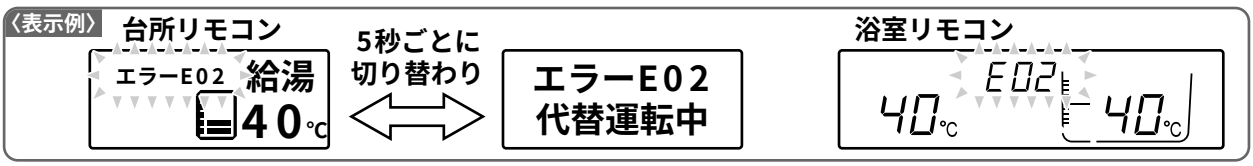
表　示	原　　因	処　　置
C01	・浴槽の排水栓を開けたまま､ふろ自動運転をしたとき ・ふろ循環アダプタが湯アカ等でつまったとき	・浴槽の排水栓を閉じてください。 ・ふろ循環アダプタのカバーを掃除してください。
C02	・浴槽の残り湯が多いまたは残り湯の温度が低すぎて、設定温度に湯はりできないとき	・浴槽の残り湯を排水してからふろ自動運転をしてください。
C03	・貯湯タンクユニット内の貯湯量が少ないのに、ふろ自動運転をしたとき	・強制沸増を行って、湯量を確保してから行ってください。（→45ページ）
C05	・湯はり完了時、設定温度より10℃以上低下し、自動保温ができないとき	・お湯を適量排水してから、追いだきを使用してください。

●お知らせ表示の解除をする場合は（ふろ自動）スイッチを押します。

故障かなと思ったら

故障表示

○ **機器に異常が発生したとき、リモコンに次のように表示し、ピピピピッと鳴って異常をお知らせします。(台所リモコンは5 秒ごとに表示が切り替わります。)**



お知らせ

●**「エラー＊＊＊TEL＊＊＊」や「エラー＊＊＊修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。**

●**「代替運転中」や「湯はり停止中」などと表示されたときは、機器は作動しています。(一部機能が使えない場合があります。)**

表　示	原　因	処　置
E02～E46	貯湯タンクユニット関係の故障	故障表示を解除して、再度運転を開始してください。 再度故障コードを表示する場合は、使用を中止して故障表示内容を控えていただき、お取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検・修理をご依頼ください。
H01～H31	ヒートポンプユニット関係の故障	
E37	別売品の漏水センサ作動	貯湯タンクユニットの専用止水栓（給水配管）を閉じ、お取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検・修理をご依頼ください。

●故障表示を解除する場合は、浴室リモコンの 給湯温度▼ ふろ温度△増 を同時に5 秒以上押してください。

または、台所リモコンの「運転モード」と「予約」を同時に5 秒以上押してください。

故障かなと思ったら（表示がない場合）

○ **次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合はお取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）までご連絡ください。**

症　状	原　因	処　置
リモコンの表示部が点灯しない（電源が入らない）	・200Vブレーカが「OFF」になっている。	ブレーカを「ON」にしてください。
	・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている	ブレーカを「ON」にしてください。 再度「OFF」になる場合は、そのままお取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまでまってください。
リモコンの表示が消えている	・表示が自動消灯モードになっている	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。 常時点灯させるには、表示消灯スイッチを押します。 （→22ページ）
リモコンの表示が暗い	・リモコンの輝度設定が「暗」になっている	リモコンの輝度設定を「明」にしてください。 （→39ページ）
音声案内をしない 音声案内が小さい	・リモコン音量が「無し」や「小」になっている	リモコン音量を「中」「大」などに設定してください。 （→38ページ）
リモコンの操作音が出ない	・リモコン操作音の設定が「無し」になっている	リモコン操作音設定を「有り」にしてください。 （→38ページ）
ふろ自動を受け付けない	・貯湯量表示が消え「残湯少」が点灯または点滅している	強制沸増を行って、湯量を確保してから行ってください。 （→45ページ）

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら（表示がない場合）

症　状	原　　因	処　　置
お湯が出ない お湯の出が悪い	・給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開いてください。
	・断水している/給水圧が低い	水道局へ問い合せてください。
	・貯湯タンクユニット内のフィルターにゴミがつまっている	お取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検・修理をご依頼ください。
	・配管が凍結している	お取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯がぬるい お湯が足りない	・時計表示が点滅している	時刻設定をしてください。（→15ページ）
	・台所リモコンに「再開○日後」が表示している	休止スイッチを押し、沸上げ停止を取消してください。（→48ページ）
	・沸上げ温度設定が低い	「深夜のみ」モードで、沸上げ温度が「控えめ」の場合は「湯多め」にしてください。（→20ページ）
	・沸上げ運転時以外でも、排水口からお湯（水）がでている	逃し弁の点検をしてください。（→55ページ） 止まらない場合は、お取付店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検・修理をご依頼ください。
	・いつもに比べてお湯をたくさん使用した	強制沸増を行ってください。（→45ページ）
浴槽のお湯があつい	・湯はり湯温の設定が高い	湯はり温度の設定を低くしてください。（→24ページ） またはふろぬるめを使用してください。（→32ページ）
	・追いだき中	追いだきを中止してください。（→31ページ）
浴槽のお湯がぬるい	・湯はり湯温の設定が低い	湯はり温度の設定を高くしてください。（→24ページ） または追いだきを使用してください。（→31ページ）
	・「保温中」表示が点滅している	・おまかせ／満タンモードのとき 貯湯量が回復するまで待ってください。（→26ページ） ・深夜のみモードのとき 強制沸増を行ってください。（→45ページ）
浴槽のお湯が少ない	・湯はり湯量の設定が少ない	湯はり湯量の設定を多くしてください。（→24ページ） またはたし湯をしてください。（→33ページ）
浴槽のお湯が多い	・湯はり湯量の設定が多い	湯はり湯量の設定を少なくしてください。（→24ページ） または排水してください。
	・浴槽に残り湯がある状態で湯はりをした	残り湯を排水してから湯はりをするようにしてください。
追いだきができない	・貯湯量表示が消え、「残湯少」が点滅または点灯している。	強制沸増を行って、湯量を確保してから使用してください。（→45ページ）
	・湯はり中、たし湯中、ふろぬるめ中、クリーニング中	湯はり等動作が完了してから使用してください。
	・貯湯量表示が消え、「残湯少」が点滅している。	強制沸増を行って、湯量を確保してから使用してください。（→45ページ）
給湯温度が変更できない	・リモコンに優先権がない	浴室リモコンの浴室優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（→23ページ）
貯湯量表示の減り方が早い	・外泊などで1日以上お湯を使用していない	貯えられたお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。
	・過去1週間のお湯の使用量が減少した	過去1週間のお湯の使用量にあわせて沸上げ温度・湯量が変化しますので、表示の減り方は日によって変わります。

仕様

[システム]

型式名	RES3705HP	RES3705HPZ
適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御対応）	
定格電圧	単相　200V　50/60Hz	
最大電流	16A	20A
沸き上げ温度	約65～90℃	
仕向地	次世代省エネ基準III地域以南（※8）	次世代省エネ基準Ⅰ地域以南（※9）

[貯湯タンクユニット]

型式名		RE3705HP	RE3705HPZ
種類		屋内・屋外兼用型	
タンク容量		370L	
最大使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）	
外形寸法（高さ×幅×奥行）		1,900mm×630mm×730mm	
質量（製品重量/満水時重量）		約77kg／約447kg	
風呂保温消費電力		0 .1kW（循環ポンプ）	
凍結防止ヒータ		124W（ただし冬期のみ作動）	
制御用		14W（リモコン消灯時9W）	
貯湯機能		おまかせ・満タン・深夜のみ	
風呂給湯機能	自動湯はり	湯はり設定温度：約35～48℃（1℃刻み） 湯はり水位設定：約3cm刻み、10段階	
	自動保温	自動湯はり開始から設定した自動運転時間の間、 設定温度で保温［0～6時間（初期設定4時間）］	
	自動たし湯	自動湯はり開始から設定した自動運転時間の間、 設定水位までたし湯［0～6時間（初期設定4時間）］	
	追いだき	浴槽温度が設定温度未満のとき、設定温度まで加熱 浴槽温度が設定温度以上のとき、浴槽温度を約2℃上昇する湯温まで加熱	
	たし湯	設定温度の湯を約20Lたし湯する	
	さし水	浴槽温度を約1℃低下させる水量をさし水する	

[ヒートポンプユニット]

型式名	REHP452	REHP452Z
外形寸法（高さ×幅×奥行）	640mm×820mm×300mm	
重量	59kg	60kg
定格加熱能力　※2 ※3	4.5kW	
定格消費電力　※3	1.14kW	
夏期加熱能力／消費電力　※2 ※4	4.5kW／1.02kW	
冬期加熱能力／消費電力　※2 ※5	4.5kW／1.25kW	
冬期高温加熱能力　※1 ※2 ※6	4.5kW	
冬期高温加熱消費電力　※1 ※6	1.54kW	
運転音　※7	39dB	
冷媒名（封入量）	CO2（0.77kg）	

※1 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。
※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※4 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※5 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※6 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※7 定格条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）
※8 次世代省エネ基準III地域：　主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県など
※9 次世代省エネ基準Ⅰ地域：　主に北海道など（ただし、極寒冷地は除く。極寒冷地とは暖房度日が4500度・日を越える地域）

保証とアフターサービス

保証について

○ 製品に保証書が同梱されています。
必ず「お取付け工事店・お取付け引渡し日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。

点検・修理を依頼されるとき

○ 点検・修理を依頼される前に56～58ページの「故障かなと思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合がある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お取付店または東陶メンテナンス（株） 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。

○ 修理を依頼されるときは、お取付店または東陶メンテナンス（株） 0120-1010-05（フリーダイヤル）にお電話ください。
保証期間であれば、保証書の記載内容に基づき修理いたします。
保証期間が過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理します。

○ 点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

①製品名または品番（給湯機に貼ってある銘板で確認）
②不具合現象の内容
③取付年月日
④お名前・住所・電話番号
⑤お宅までの道順

○ 故障、修理の際の連絡先

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ	アフターサービスについてのご用命は東陶メンテナンス(株)へ
0120-03-1010 受付時間：平日 9:00-18:00 土・日・祝日 10:00-18:00 （夏期休暇・年末年始を除く） インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/	0120-1010-05 受付時間：関東・甲信越地区 8:00-20:00 上記以外の地区 9:00-20:00

○ 修理料金のしくみ

修理料金は 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料 で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品を製造打切り後、10年保有しています。
なお、補修性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

MEMO

MEMO

TOTO

東陶機器株式会社

修理・取扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒 印
販売店	電話　　－

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは

TOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

補修部品のご購入は

お求め取付工事店又はTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

修理のご依頼は

東陶メンテナンス（株）へ
0120-1010-05
受付（年中無休）
受付時間：関東・甲信越地区　8:00-20:00
上記以外の地区　9:00-20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　9:00-18:00

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

148017-1420
225WA0311-00